



ドキュメントスペース ドキュメント操作URL リファレンスガイド ArcSuite 4.0

はじめに

このたびは富士フィルムビジネスイノベーションのArcSuite®をご利用いただき、まことにありがとうございます。

一般に、企業活動では、各業務に関する情報はさまざまな形態のドキュメントとして存在しています。ここでいうドキュメントとは、紙に書かれた文書だけを示す狭義のものではありません。紙はもちろんのこと、ホワイトボードに書かれた文字や図表、プロジェクターやテレビに映し出された映像などを含む広義なものを指します。

ドキュメントは一般に、ひとりの手で作成されるものではなく、複数の人の意見交換や討議を経て作成されます。単純な作業や複雑な計算はコンピューターに委ねられ、あらゆる分野でさまざまなソリューションが展開されていますが、ドキュメントの作成では一般に人が中心なのです。

ArcSuiteは、「ドキュメント」に着目して「人」と「人」をつなぐ、「ドキュメント指向」のソリューション・パッケージです。ArcSuiteをご利用いただくことによって、さまざまなコンピューターシステムを統合したうえでのドキュメントの共有や管理が可能になります。

お使いの商品構成によって、次の機能が標準で提供されないことがあります。

コラボスペース、ドキュメントレビューオプション、ワークフロー、分類ビュー、関連文書検索サービス、原本性保証オプション、キャプチャリングサービス、統合検索サービス、オンラインバックアップオプション、ドキュメント一括操作ツール、連携フォルダ for DocuWorks、連携オプション for Working Folder

本書の内容は、Microsoft Windows Operating System、およびWebブラウザの基本的な知識や操作方法を習得されているかたを対象として記述しています。

Excel、Microsoft、Windows、およびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Xerox、Xeroxロゴ、およびFuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

その他の社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。

ご注意

- ・ 本書の編集、変更、または無断での転載はしないでください。
- ・ 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本書に記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。

ArcSuite、およびDocuWorksは、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

著作権について

本ソフトウェア、およびバックアップのために複製されたソフトウェアに関する著作権等を含む一切の無体財産権は、弊社および弊社への供給者に帰属します。

(c) 2002-2021 FUJIFILM Business Innovation Corp.

マニュアル体系

ArcSuiteには、次のマニュアルおよびヘルプがあります。

マニュアルは、PDFファイルまたはヘルプの形式で提供しています。

主なマニュアルは、『ポータル画面のヘルプ』から参照できます。『ポータル画面のヘルプ』は、Webブラウザの操作画面にある【ヘルプ】から表示できます。

補足 お使いの商品構成によっては、提供されない機能の説明がマニュアルに含まれることがあります。

■ 管理者ユーザー向け

名称	概要
セットアップガイド	本製品全体のセットアップ方法について説明しています。
システム管理者ガイド	リソース管理サービスの概要、機能、管理操作を行うコマンドについて説明しています。また、本製品の運用に必要な管理作業について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理者ガイド	ドキュメント管理サービスの概要、機能、および管理操作を行うコマンドについて説明しています。
ドキュメント管理サービス管理アプリケーション デスクトップ版のヘルプ	サーバーで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理アプリケーション Web版のヘルプ	クライアントPCで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
オフラインバックアップ・リストア運用ガイド	オフラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。
リソース管理アプリケーションのヘルプ	ユーザー、グループ、ユーザーロールの追加、およびライセンスの編集、検索について説明しています。
ログインサーバー管理アプリケーションのヘルプ	ログインサーバーでの認証モードの設定について説明しています。
メッセージ通知管理アプリケーションのヘルプ	メッセージ通知サーバーの設定、メッセージのプール管理、メッセージテンプレートの設定について説明しています。
ポータル管理アプリケーションのヘルプ	ユーザープロフィールに表示する項目の設定、お知らせの設定について説明しています。
ドキュメントスペース管理アプリケーションのヘルプ	属性テンプレートや表示する属性の設定、表示するボタンの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。
表示アプリケーション管理ツールのヘルプ	表示アプリケーションのテンプレート、システム環境の設定について説明しています。
ログ管理アプリケーションのヘルプ	ログを表示する機能、ログを取得する機能、および保守情報を一括で取得する機能について説明しています。

名称	概要
監視ツールのヘルプ	ArcSuiteのコンポーネントにアクセスしているユーザー、データベースの状態、およびセッションの状態を監視する機能について説明しています。
ドキュメントスペースドキュメント操作URLリファレンスガイド (本書)	ドキュメントスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
オンラインバックアップ・リストア運用ガイド	オンラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。
e-文書法対応 概要説明書	e-文書法対応の概要および原本性保証オプションの機能について説明しています。
コラボスペース管理アプリケーションのヘルプ	コラボスペースのメールの設定、ログの設定、およびタスクやメッセージの用語をカスタマイズする設定について説明しています。
ワークフロー管理アプリケーションのヘルプ	ワークフロー定義または起動テンプレートの作成者および公開者の設定、ログの設定、外部コマンドの設定について説明しています。
キャプチャリング管理アプリケーションのヘルプ	キャプチャリングサービスの監視キューに対する操作について説明しています。
統合検索サービス管理アプリケーションのヘルプ	統合検索サービスのリソースの設定、収集スケジュールの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。
コラボスペースタスク操作URLリファレンスガイド	コラボスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
ワークフロー操作URLリファレンスガイド	ワークフローの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
Webサービスインターフェイスリファレンスガイド	ArcSuiteの機能にSOAPを使用して接続するAPIについて説明しています。
ドキュメント管理サービスSDKリファレンスガイド	ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。
コラボスペースInterface Toolkitリファレンスガイド	コラボスペースのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。
ワークフロー Interface Toolkitリファレンスガイド	ワークフローのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。

■ クライアントユーザー向け

名称	概要
ポータル画面のヘルプ	ポータル画面で、お気に入りの編集、ユーザープロフィールを変更する操作について説明しています。 Webブラウザの操作画面にある [ヘルプ] から参照してください。
アドレス帳のヘルプ	アドレス帳で、ユーザー、グループ、ユーザーロール、およびタスクを検索する操作について説明しています。
ドキュメントスペースのヘルプ	ドキュメントスペースで、登録、属性の変更、検索などのドキュメントを管理する機能の操作について説明しています。
表示アプリケーションのヘルプ	表示アプリケーションで、ブラウザーイメージ変換された画像を編集する操作、およびユーザー設定について説明しています。
検索条件式のヘルプ	ドキュメントスペースの詳細検索で、全文検索または属性検索の条件式をXMLで指定するときの記述方法について説明しています。

名称	概要
簡易操作のヘルプ	簡易操作画面でドキュメントを管理する機能の操作、および操作画面の設定方法について説明しています。
コラボスペースのヘルプ	コラボスペースで、タスクの作成、メッセージの登録、および検索などの操作について説明しています。
ワークフローのヘルプ	ワークフローで、ワークフロー定義の作成、公開および起動する操作、作業を実行する操作について説明しています。
ドキュメント一括操作ツール説明書	Microsoft Excelを使って、ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理する操作について説明しています。
デスクトップクライアント セットアップガイド	デスクトップクライアントのセットアップ方法について説明しています。
デスクトップクライアント 操作説明書	デスクトップクライアントで、ドキュメント管理サービスのフォルダーやドキュメントにアクセスする操作方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorks セットアップガイド	連携フォルダ for DocuWorksのセットアップ方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorksの ヘルプ (*1)	DocuWorks Deskで、ArcSuiteに登録されているドキュメントを操作する方法について説明しています。

* 1: 連携フォルダ for DocuWorks をインストールした DocuWorks Desk のヘルプから参照してください。

本書の使い方

本書は、ArcSuiteをより効果的にご活用いただくことを目的として、ArcSuiteのドキュメントスペースドキュメント操作URLの概要やインターフェイスを説明しています。

本書は、ArcSuite のドキュメントスペースドキュメント操作URLについて説明しています。ドキュメントスペースドキュメント操作URLを使用するときに、本書をお読みください。

■ 本書の構成

本書は、次の章、付録から構成されています。

[1 ドキュメントスペースドキュメント操作URLの概要](#)

ドキュメントスペースドキュメント操作URLの概要について説明しています。

[2 引数、属性値、演算子の表記方法](#)

ドキュメントスペースドキュメント操作URLで使用する引数、属性値、および演算子について説明しています。

[3 インターフェイス詳細](#)

ドキュメントスペースドキュメント操作URLのインターフェイスの詳細について説明しています。

[付録](#)

URL生成アプリケーション、新規詳細検索URL作成について説明しています。

■ 本書の表記

- ・本書では、次の記号を使用しています。

< > キー	キーボードのキーを表します。 例：<Enter>キーを押します。
[]	画面に表示されるメニュー、ボタン、項目を表します。 例：[新規作成] をクリックします。
[]	同一マニュアル内の参照箇所を表します。 また、強調する用語やメッセージも表します。 例：「1.2 システム構成」を参照してください。 「名前が指定されていません。」と表示されます。
『 』	参照するマニュアルの名前を表します。 例：『システム管理者ガイド』を参照してください。
{ }	ユーザー名やサーバー名など、操作時に変わる値を表します。 例：[{ユーザー名}] をクリックします。
>	メニューやWebページの階層を表します。 例：[システムとセキュリティ] > [管理ツール]
注記	一般的な注意事項を表します。
補足	機能や操作に関する補足説明を表します。
参照	参照する事項があることを表します。
<u> </u>	参照先タイトルやページへのリンクがあることを表します。 例： [1 概要] (P.6)

- ・ Microsoft Windows Operating System を「Windows」と表記しています。
- ・ パーソナルコンピュータを「PC」と表記しています。
- ・ お使いの環境によって、マニュアルに記載の画面と実際の画面が異なることがあります。
- ・ 特に表記がない場合の製品のバージョン番号は「4.0」です。

目次

1	ドキュメントスペース ドキュメント操作URLの概要	
1.1	概要	13
	オブジェクト表示	13
	ダウンロード	13
	コンテンツ表示	13
	インデックス画像表示	14
	検索設定表示	14
	検索設定一覧表示	14
	詳細検索結果表示	14
	簡易検索結果表示	14
	新規詳細検索表示	14
	新規詳細検索結果表示	14
	サービス表示	14
	ObjectID 指定検索結果表示	14
	リモート編集	15
	プリンタープロパティ	15
	印刷要求	15
1.2	インストール方法	16
1.3	操作上の留意点	17
	ライセンスチェック、アクセス権に対する注意	17
	サイト依存情報に対する注意	17
	画面の機能	17
	URL のエンコード	17
	文字エンコード	17
	印刷、表示の [閉じる] ボタン	17
	長い URL についての注意	17
	ワークスペースのオブジェクト	18
2	引数、属性値、演算子の表記方法	
2.1	引数の表記方法	20
2.2	属性値の表記方法	26
2.3	属性検索演算子の表記方法	28
3	インターフェイス詳細	
3.1	共通ユーザーインターフェイス	33
	エラー画面	33
	[ログイン] 画面	33
3.2	URL インターフェイス	34
	パス	34
	引数形式	34
3.3	オブジェクト表示	36
	パス	36
	引数形式 1	36
	引数形式 2	36
	引数形式 3	37
	引数形式 4	38
3.4	ダウンロード	40

	パス.....	40
	引数形式 1 ~ 4.....	40
3.5	コンテンツ表示.....	41
	パス.....	41
	引数形式 1.....	41
	引数形式 2.....	41
	引数形式 3.....	41
	引数形式 4.....	41
3.6	インデックス画像表示.....	42
	パス.....	42
	引数形式 1.....	42
	引数形式 2.....	42
	引数形式 3.....	42
	引数形式 4.....	42
3.7	検索設定表示.....	43
	パス.....	43
	引数形式 1 ~ 2.....	43
3.8	検索設定一覧表示.....	44
	パス.....	44
	引数形式 1.....	44
	引数形式 2.....	44
3.9	詳細検索結果表示.....	46
	パス.....	46
	引数形式 1 ~ 2.....	46
3.10	簡易検索結果表示.....	47
	パス.....	47
	引数形式.....	47
3.11	新規詳細検索表示.....	48
	パス.....	48
	引数形式.....	48
3.12	新規詳細検索結果表示.....	50
	パス.....	50
	引数形式.....	50
3.13	サービス表示.....	53
	パス.....	53
	引数形式.....	53
3.14	ObjectID 指定検索結果表示.....	54
	パス.....	54
	引数形式.....	54
3.15	リモート編集.....	55
	パス.....	55
	引数形式.....	55
3.16	プリンタープロパティ.....	56
	パス.....	56
	引数形式 1.....	56
	引数形式 2.....	57
3.17	印刷要求.....	58
	パス.....	58
	引数形式 1.....	58

引数形式 2	58
引数形式 3	59
引数形式 4	60

付録

付録A URL生成アプリケーション	63
付録 A.1 概要	63
URL 生成アプリケーションの URL	63
注意事項	63
[URL 生成ツール] リンク	63
共通ユーザーインターフェイス	63
付録 A.2 [URL 生成 - オブジェクト表示] 画面	65
リクエストの出力形式	65
リクエストの種別	65
オブジェクトの指定方法	65
[オブジェクト ID を指定] を選択した場合の入力項目	65
[属性値を検索] を選択した場合の入力項目	65
[検索設定を名前で指定] を選択した場合の入力項目	65
[検索設定を ID で指定] を選択した場合の入力項目	65
[表示] ボタン	65
[送信] ボタン	65
付録 A.2.1 オブジェクト ID を指定	66
オブジェクト ID - 追加入力欄	66
[オブジェクト ID] リストボックス	66
[追加] ボタン	66
[削除] ボタン	66
警告メッセージ	66
付録 A.2.2 属性値を検索	67
[サービス] プルダウンメニュー	67
[キャビネット] プルダウンメニュー	67
[属性名] プルダウンメニュー	67
属性値	67
警告メッセージ	69
付録 A.2.3 検索設定を名前で指定	70
[サービス] プルダウンメニュー	70
[ワークスペース] プルダウンメニュー	70
[検索設定] プルダウンメニュー	70
全文検索	70
実行時入力属性	71
警告メッセージ	72
付録 A.2.4 検索設定をオブジェクト ID で指定	72
付録 A.3 [URL 生成 - ダウンロード] 画面	72
入力項目	72
警告メッセージ	73
付録 A.4 [URL 生成 - コンテンツ画像表示] 画面	73
入力項目	73
警告メッセージ	73
付録 A.5 [URL 生成 - インデックス画像表示] 画面	73
入力項目	73
警告メッセージ	73
付録 A.6 [URL 生成 - 検索設定表示] 画面	73

	リクエストの出力形式	73
	リクエストの種別.....	74
	[サービス] プルダウンメニュー	74
	検索設定の指定方法	74
	[ワークスペース] プルダウンメニュー	74
	[検索設定] プルダウンメニュー	74
	[表示] ボタン	74
	[送信] ボタン	74
	警告メッセージ	74
付録 A.7	[URL 生成 - 検索設定一覧表示] 画面.....	75
	リクエストの出力形式	75
	リクエストの種別.....	75
	[サービス] プルダウンメニュー	75
	[ワークスペース] プルダウンメニュー	75
	[表示] ボタン	75
	[送信] ボタン	75
	警告メッセージ	75
付録 A.8	[URL 生成 - 詳細検索結果表示] 画面.....	76
	入力項目	76
	警告メッセージ	76
付録 A.9	[URL 生成 - 簡易検索結果表示] 画面.....	76
	リクエストの出力形式	76
	リクエストの種別.....	76
	検索文字列.....	76
	[サービス] プルダウンメニュー	76
	[表示] ボタン	76
	[送信] ボタン	77
	警告メッセージ	77
	入力項目	77
付録 A.10	[URL 生成 - サービス表示] 画面.....	77
	リクエストの出力形式	77
	リクエストの種別.....	77
	[サービス] プルダウンメニュー	77
	[表示] ボタン	77
	[送信] ボタン	77
	警告メッセージ	77
付録 A.11	[URL 生成 - プリンタープロパティ] 画面	78
	リクエストの出力形式	78
	リクエストの種別.....	78
	プリンターの指定方法	78
	オープン時のモード	78
	プリンター一覧	78
	[表示] ボタン	78
	[送信] ボタン	78
	警告メッセージ	78
付録 A.12	[URL 生成 - 印刷要求] 画面	79
	リクエストの出力形式	79
	リクエストの種別.....	79
	オブジェクトの指定方法.....	79
	[オブジェクト ID を指定] を選択した場合の入力項目	79
	[属性値を検索] を選択した場合の入力項目	79
	[検索設定を名前で指定] を選択した場合の入力項目	79

[検索設定を ID で指定] を選択した場合の入力項目.....	79
[表示] ボタン.....	79
[送信] ボタン.....	79
付録 A.13 メッセージ.....	80
エラーメッセージ.....	80
警告メッセージ.....	80
情報メッセージ.....	81
付録 B 新規詳細検索URL作成.....	82
付録 B.1 [新規詳細検索 URL 作成] 画面.....	82
入力項目.....	82
[URL 作成] ボタン.....	82
付録 B.2 [新規詳細検索結果表示] 画面.....	82
[リクエスト].....	82
[URL].....	82

1 ドキュメントスペース ドキュメント操作 URLの概要

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLは、SE（システムエンジニア）やサードベンダーなどのアプリケーション開発者向けに用意されたURLです。

ドキュメントスペースの機能を利用するためのインターフェイスになります。

1.1 概要

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLとは、ドキュメントスペースの機能を特定のURLとしてSE（システムエンジニア）やサードベンダーなどのアプリケーション開発者に提供するものです。このURLを利用して、ドキュメントスペースの各アプリケーションの機能にリクエストを送ることができます。

ユーザーがWebブラウザでURLを呼び出すと、URLは引数を解釈するなどの必要な前処理を実行したあと、適切なアプリケーションにリクエストを転送します。アプリケーションはユーザーのリクエストに対応する画面を表示するためのWebページを返し、Webブラウザに表示します。

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLとして提供される機能の概要について説明します。

参照 ドキュメントスペース ドキュメント操作 URL については、[\[3 インターフェイス詳細 | \(P.32\)\]](#) を参照してください。

オブジェクト表示

指定したオブジェクトを表す画面を表示します。

オブジェクトは、次の方法で指定できます。

- ・ ID による指定
- ・ 属性名と属性値による指定
- ・ 検索設定の名前による指定
- ・ 検索設定の ID による指定

ただし、複数オブジェクトのオブジェクト表示はできません。

ダウンロード

指定したオブジェクトをダウンロードします。

オブジェクトは、次の方法で指定できます。

- ・ ID による指定
- ・ 属性名と属性値による指定
- ・ 検索設定の名前による指定
- ・ 検索設定の ID による指定

コンテンツ表示

指定したオブジェクトの実体画像を表示します。表示できるオブジェクトカテゴリーは、ドキュメント、フォルダとそれらのリファレンスです。

オブジェクトは、次の方法で指定できます。

- ・ ID による指定
- ・ 属性名と属性値による指定
- ・ 検索設定の名前による指定
- ・ 検索設定の ID による指定

インデックス画像表示

指定したオブジェクトのインデックス画像を表示します。表示できるオブジェクトカテゴリーは、ドキュメント、フォルダとそれらのリファレンスです。

オブジェクトは、次の方法で指定できます。

- ・ ID による指定
- ・ 属性名と属性値による指定
- ・ 検索設定の名前による指定
- ・ 検索設定の ID による指定

検索設定表示

指定した検索設定にもとづく実行時入力画面を表示します。実行時入力項目がない場合は、詳細検索を実施し、その検索結果を表示します。

検索設定は、次の方法で指定できます。

- ・ 検索設定の名前による指定
- ・ 検索設定の ID による指定

検索設定一覧表示

指定したワークスペースが持つ検索設定の一覧を表示します。

ワークスペースは、次の方法で指定できます。

- ・ ワークスペースの名前による指定
- ・ ワークスペースのオブジェクト ID による指定

詳細検索結果表示

指定した検索設定にもとづく詳細検索を実施し、その検索結果を表示します。

検索設定は、次の方法で指定できます。

- ・ 検索設定の名前による指定
- ・ 検索設定の ID による指定

簡易検索結果表示

指定したキーワードで簡易検索を実施し、その検索結果を表示します。

新規詳細検索表示

新規の詳細検索画面を表示します。

参照 詳細検索画面については、『ドキュメントスペースのヘルプ』を参照してください。

新規詳細検索結果表示

新規の詳細検索を実施し、その検索結果を表示します。

サービス表示

指定されたサービスを表示します。対象とするサービスはサービス名で指定し、複数指定はできません。

ObjectID 指定検索結果表示

ドキュメント管理サービスのオブジェクトIDを指定して検索を実施し、その検索結果を表示します。

リモート編集

指定されたオブジェクトのリモート編集画面を表示します。

オブジェクトは、次の方法で指定できます。

- ・ ID による指定
- ・ 属性名と属性値による指定
- ・ 検索設定の名前による指定
- ・ 検索設定の ID による指定

注記 複数オブジェクトのリモート編集はできません。

参照 リモート編集については、『ドキュメントスペースのヘルプ』を参照してください。

プリンタープロパティ

指定したプリンターの [プロパティ] 画面を表示します。オープン時のモード (キュー、アカウント、状態) を指定できます。

プリンターは、次の方法で指定できます。

- ・ 論理プリンター URI による指定
- ・ 論理プリンター名による指定

印刷要求

指定したオブジェクト (群) の [印刷要求] 画面を表示します。印刷できるオブジェクトカテゴリーは、ドキュメント、フォルダ、およびそれらのリファレンスです。

オブジェクトは、次の方法で指定できます。

- ・ ID による指定
- ・ 属性名と属性値による指定
- ・ 検索設定の名前による指定
- ・ 検索設定の ID による指定

1.2 インストール方法

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLは、ドキュメントスペースのインストールと同時にインストールされます。

参照 ドキュメントスペースのインストール方法については、『セットアップガイド』を参照してください。

1.3 操作上の留意点

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLの使い方、操作手順、主なエラーの対処方法について説明します。

ライセンスチェック、アクセス権に対する注意

各アプリケーションのライセンスチェックとアクセス権を確認してください。

開発者と使用者が異なる場合や、両者の権利が異なる場合には、開発時に動作した機能が使用者によっては動作しないことがあります。また、メールにドキュメントスペース ドキュメント操作URLを記述して送信する場合も、送り手と受け手の権利が異なると同様の状況になります。

開発者は使用者の環境で開発する必要があります。

サイト依存情報に対する注意

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLが引数として使用するオブジェクトID、論理プリンター URI、論理プリンター名、サーバー名、キャビネット名、ワークスペース名、検索設定名、ユーザー属性はすべてサイトに依存する情報です。ドキュメントスペース ドキュメント操作URLではこれらの情報を取得する手段を提供しません。

画面の機能

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLで表示される画面は、本文中に示した各アプリケーションの機能です。ドキュメントスペース ドキュメント操作URLの機能ではありません。

参照 各画面の機能については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

URL のエンコード

使用するURLは、仕様『RFC2396』に沿ってエンコードを設定する必要があります。

文字エンコード

リクエストパラメーターの文字コードを指定できます。

文字コードのパラメーターを省略した場合は、Windows31-Jになります。

ArcSuite Engineering 2.2以前のURLとの互換性を保つためには、文字コードのパラメーターは引数なしで、Windows31-Jに固定する必要があります。

印刷、表示の [閉じる] ボタン

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLで表示される印刷、表示機能に関わる画面には、[閉じる] ボタンを表示するものがあります。この [閉じる] ボタンをクリックすると、Webブラウザが終了します。これは印刷アプリケーション、表示アプリケーションの仕様です。注意してください。

長い URL についての注意

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLは、GETおよびPOSTでのqueryをサポートしています。ただし、特に長いqueryはGETで送信すると、そのURLの文字列が途中で切れてしまいます。

ワークスペースのオブジェクト

ワークスペースの次のオブジェクトは、オブジェクトIDを指定して取得できません。

- ・キャビネット
- ・ドロワー
- ・ワークスペースフォルダ
- ・印刷設定フォルダ
- ・検索設定フォルダ
- ・ドキュメントフォルダ fa

2 引数、属性値、演算子の表記方法

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLでは、引数を指定して各アプリケーションの機能にリクエストを送ります。

引数の中には、属性値や演算子を使用できます。この章では、ドキュメントスペース ドキュメント操作URLで使用する引数、属性値、演算子の表記方法について説明します。

2.1 引数の表記方法

引数の表記方法を次に示します。

表 : 引数の表記方法一覧

型	説明
オブジェクト ID	<p>対応するドキュメント管理サービスの中のオブジェクトIDの文字列表記です。オブジェクトのIDは、ドキュメントスペースの [属性表示] 画面で [ID] として表示されます。</p> <p>キャビネット用の形式 {serviceld} : {cabinetId}</p> <p>キャビネット以外のオブジェクト用の形式 {serviceld} : {cabinetId} : {drepld}</p> <p>特定リビジョンのドキュメント用の形式 {serviceld} : {cabinetId} : {drepld} : {revision}</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ {serviceld} は、サービスIDの値です。 ・ {cabinetId} は、キャビネットIDの値です。 ・ {drepld} は、オブジェクトのID番号 (10進数) です。 ・ {revision} は、リビジョン番号 (10進数) です。作業リビジョンは [-1]、最新のリビジョンは [-2] を指定します。
サービス名	<p>対応するドキュメント管理サービスのdnです。</p> <p>ただし、ワークスペースサービスの場合、WorkSpace:dnという形式になります。</p>
名前	<p>対応するドキュメント管理サービスのオブジェクトの名前属性の値です。ドキュメントスペース ドキュメント操作URLでは、指定された引数がドキュメント管理サービスの名前の表記方法に合致しているかどうかはチェックしません。</p>
属性 ID	<p>ドキュメント管理サービスの属性IDの文字列表記です。</p> <p>形式 {namespaceprefix} : {name}</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ {namespaceprefix} は、名前空間接頭辞 ([system] またはユーザー属性の名前空間名) です。 ・ {name} は、名前です。
属性値	<p>属性IDで指定される属性の型によって、表現が異なります。</p> <p>参照 属性値については、[2.2 属性値の表記方法] (P.26) を参照してください。</p>

表 : 引数の表記方法一覧

型	説明
実行時入力項目 (属性)	<p>検索設定の属性検索の実行時入力項目を指定します。</p> <p>次のように、{実行時入力項目番号} と、{属性値} または {属性検索演算子} を、[:] (半角のコロン) で連結します。</p> <p>{実行時入力項目番号} :value: {属性値}</p> <p>{実行時入力項目番号} :operator: {属性検索演算子}</p> <p>複数の値を指定する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 属性の型が STRING、DOUBLE、INT、または LONG のとき 各属性値を半角または全角のスペースで区切り、1つの引数として指定します。 {実行時入力項目番号} :value: {属性値} △ {属性値} △ {属性値} 属性の型が ATOM、BOOLEAN、DATE、PRINCIPAL、または USERROLE のとき {実行時入力項目番号} が同じ引数を複数回指定します。このとき、値の順序は指定した順になります。 {実行時入力項目番号} :value: {属性値} <p>補足 △は、半角または全角のスペースを意味します。</p> <p>{属性検索演算子} を省略した場合は、対応する検索設定に記述された内容で検索します。</p> <p>{属性値} が記述されていない場合は、その項目を検索条件に含めずに検索します。</p>
実行時入力項目番号	<p>検索設定の実行時入力項目の番号を指定します。</p> <p>番号は検索設定画面の検索項目の表示順序（上から順）と一致します。</p> <p>最初の項目は、0です。</p> <p>[0] の属性値表記方法一覧表での、INTの正の値だけに相当します。</p> <p>参照 実行時入力項目番号については、[2.2 属性値の表記方法] (P.26) を参照してください。</p>
属性検索演算子	<p>属性検索のときの演算子です。</p> <p>参照 属性検索演算子については、[2.3 属性検索演算子の表記方法] (P.28) を参照してください。</p>

表 : 引数の表記方法一覧

型	説明
実行時入力項目 (全文)	<p>検索設定の全文検索の実行時入力項目を指定します。 次のように、{全文検索演算子}、{全文検索キーワード}、{シソーラス検索の有無}、または {英単語変化形検索の有無} を設定します。</p> <p>operator: {全文検索演算子} keyword: {全文検索キーワード} useThesaurus: {シソーラス検索の有無} useStemming: {英単語変化形検索の有無}</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ {全文検索演算子}、{全文検索キーワード}、または {シソーラス検索の有無} のうち、省略された値については、対応する検索設定に記述された内容を用いて検索します。 ・ 対応する検索設定に全文検索キーワードの記述がなく、かつ全文検索キーワードを省略した場合には、全文検索は行われません。 ・ シソーラス検索と英単語変化形検索は、どちらか一方しか有効にできません。シソーラス検索を有効とした場合、対応する検索設定の英単語変化形検索の値に関係なく、英単語変化形検索は行われません。英単語変化形検索を有効にした場合、対応する検索設定のシソーラス検索の値に関係なく、シソーラス検索は行われません。シソーラス検索と英単語変化形検索を両方とも有効に設定した場合は、エラーになります。 ・ 複数の {全文検索キーワード} を指定する場合、空白文字を連結して指定するか、キーワードごとに複数回指定します。
全文検索演算子	全文検索のときの演算子です。 「and」または「or」を指定します。
全文検索キーワード	Java™のStringが解釈できる文字列です。
シソーラス検索の有無	JavaのBooleanが解釈できる文字列です。
英単語変化形検索の有無	JavaのBooleanが解釈できる文字列です。
キーワード	JavaのStringが解釈できる文字列です。

表 : 引数の表記方法一覧

型	説明
検索条件属性値	<p>詳細検索の属性検索項目を指定します。 次のように、{属性検索項目番号} と、{属性名}、{属性値}、{属性検索演算子}、 または {テンプレート} を、[:] (半角のコロン) で連結します。</p> <p>{属性検索項目番号} :name: {属性名} {属性検索項目番号} :value: {属性値} {属性検索項目番号} :operator: {属性検索演算子} {属性検索項目番号} :templateName: {テンプレート}</p> <p>複数の値を指定する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 属性の型が STRING、DOUBLE、INT、または LONG のとき 各属性値を半角または全角のスペースで区切り、1つの引数として指定します。 {属性検索項目番号} :value: {属性値} △ {属性値} △ {属性値} <p>補足 △は、半角または全角のスペースを意味します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 属性の型が ATOM や PRINCIPAL などのとき {属性検索項目番号} が同じ引数を複数回指定します。このとき、値の順序は 指定した順になります。 {属性検索項目番号} :value: {属性値} {属性検索項目番号} :value: {属性値} {属性検索項目番号} :value: {属性値} <p>属性値が省略された場合、値なしの設定になります。</p> <p>検索条件属性を複数指定する場合は、{属性検索項目番号} を0から順番に1ずつ 増やして指定します。ただし、{属性検索項目番号} は、0以上99以下の範囲内で 指定します。最大100個の属性項目を指定できます。</p>
表示条件属性	<p>詳細検索の表示属性を指定します。 次のように、{表示属性項目番号} と、{属性名} または {表示幅} を、[:] (半角 のコロン) で連結します。</p> <p>{表示属性項目番号} :name: {属性名} {表示属性項目番号} :width: {表示幅}</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> {表示幅} はINT型で1以上999以下とします。 {表示幅} を省略した場合は、130が指定されます。 表示条件属性を複数指定する場合は、{表示属性項目番号} を0から順番に1 ずつ増やして指定します。ただし、{表示属性項目番号} は、0以上99以下 とします。最大100個の属性項目を指定できます。

表 : 引数の表記方法一覧

型	説明
表示条件オプション	<p>詳細検索の表示条件の表示属性以外での入力項目を指定します。</p> <p>withViewingTree: {ツリー表示}</p> <p>listStyle: {表示形式}</p> <p>maxCount: {最大表示件数}</p> <p>displayCountPerPage: {1ページの表示件数}</p> <p>contentLabelForContentViewArea: {画像表示デフォルトコンテンツラベル}</p> <p>viewingPropertiesViewArea: {プロパティ表示有無}</p> <p>propertiesViewAreaPosition: {プロパティ表示位置}</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ {ツリー表示} は、BOOLEAN型とします。省略した場合は、「true」とみなされます。 ・ {表示形式} は、「list」、「detail」、または「thumbnail」のどれかを指定します。省略した場合は、「list」とみなされます。 ・ {最大表示件数} は、INT型で1以上10000以下とします。省略した場合は、2000とみなされます。 ・ {1ページの表示件数} は、INT型で1以上100以下とします。省略した場合は、20とみなされます。 ・ {画像表示デフォルトコンテンツラベル} は、「primary」、「print」、「view」、または「scrap」のどれかを指定します。省略した場合は、「primary」とみなされます。 ・ {プロパティ表示有無} はBOOLEAN型とします。省略した場合は、「false」とみなされます。 ・ {プロパティ表示位置} は、「right」または「under」のどちらかです。省略した場合は、「under」とみなされます。
ソート条件属性	<p>詳細検索のソート属性を指定します。次のように、{ソート属性項目番号} と、{属性名} または {ソート方向} を、「:」（半角のコロン）で連結します。</p> <p>{ソート属性項目番号} :name: {属性名}</p> <p>{ソート属性項目番号} :direction: {ソート方向}</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ {ソート方向} は、「ascending」または「descending」のどちらかを指定します。省略した場合は、「ascending」とみなされます。 ・ ソート条件属性を複数指定する場合は、{ソート属性項目番号} を0から順番に1ずつ増やして指定します。ただし、{ソート属性項目番号} は、0以上99以下とします。最大100個の属性項目を指定できます。
全文検索条件	<p>詳細検索の全文検索の入力項目を指定します。次のように、{全文検索演算子}、{全文検索キーワード}、{シソーラス検索の有無}、または {英単語変化形検索の有無} を設定します。</p> <p>operator: {全文検索演算子}</p> <p>keyword: {全文検索キーワード}</p> <p>useThesaurus: {シソーラス検索の有無}</p> <p>useStemming: {英単語変化形検索の有無}</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ {全文検索キーワード} が省略された場合は、全文検索は行われません。ただし、詳細検索の初期表示としては使用します。 ・ シソーラス検索と英単語変化形検索はどちらかしか有効にできません。 ・ シソーラス検索を有効にした場合は、対応する検索設定の英単語変化形検索の値に関係なく、英単語変化形検索は行われません。 ・ 英単語変化形検索を有効にした場合は、対応する検索設定のシソーラス検索の値に関係なく、シソーラス検索は行われません。 ・ シソーラス検索と英単語変化形検索を両方とも有効に設定した場合は、エラーになります。 ・ 複数の {全文検索キーワード} を指定する場合には空白文字で連結して指定するか、キーワードごとに複数回指定します。

表 : 引数の表記方法一覧

型	説明
検索条件属性オプション	<p>形式</p> <p>operator: {属性結合条件}</p> <p>caseSensitive: {属性英大文字小文字区別}</p> <p>logicalExpression: {論理式}</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ {属性結合条件} を省略した場合は、「and」とみなされます。 ・ {属性英大文字小文字区別} を省略した場合は、「true」とみなされます。 ・ 「logicalExpression」を指定する場合は、「operator」を指定しないでください。
属性結合条件	各検索条件属性値の結合演算子です。「and」または「or」を指定します。
属性英大文字小文字区別	JavaのBooleanが解釈できる文字列です。
論理式	<p>各検索条件属性値を結合するための論理式を指定します。</p> <p>論理式の指定には、次の文字を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ {属性検索項目番号} ・ 「&」 (AND 検索) ・ 「,」 (OR 検索) ・ 「(」 ・ 「)」
論理プリンター URI	<p>対応するプリンターのprinter-uriです。</p> <p>ドキュメントスペースドキュメント操作URLでは、指定された引数がリソース管理サービスの仕様を満たしているかどうかのチェックは行われません。</p>
論理プリンター名	<p>対応するプリンターのprinter-nameです。</p> <p>ドキュメントスペースドキュメント操作URLでは、指定された引数がリソース管理サービスの仕様を満たしているかどうかのチェックは行われません。</p>

- 参照**
- ・ 論理プリンター URI、論理プリンター名、サービス名、または名前に使用できる文字については、『システム管理者ガイド』を参照してください。
 - ・ オブジェクト ID、キーワードに使用できる文字については、『ドキュメント管理サービス管理者ガイド』を参照してください。

2.2 属性値の表記方法

属性値の表記方法を次に示します。なお、構造体型、URI型はサポートしていません。

表：属性値の表記方法一覧

型	説明
ATOM	<p>形式</p> <pre>{namespaceprefix} : {name}</pre> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ {namespaceprefix} は、名前空間接頭辞（「system」またはユーザー属性の名前空間名）です。 ・ {name} は、名前です。
BOOLEAN	JavaのBooleanが解釈できる文字列です。
DATE	<p>形式</p> <pre>{YYYYMMDDhhmmss}</pre> <p>タイムゾーンを指定する場合、次のように指定します。</p> <pre>{YYYYMMDDhhmmss} + {TTZZ}</pre> <pre>{YYYYMMDDhhmmss} - {TTZZ}</pre> <p>省略する場合</p> <p>「*」（アスタリスク）を使用します。ただし、{YYYY} の省略や、1けただけの省略はできません。</p> <p>また、{YYYY} 以外の値を省略した場合、それ以降をすべて省略したものとみなされます。たとえば、「2021**21010203」と指定した場合は「2021*****」、 「2021**21010203-0900」と指定した場合は「2021*****-0900」とみなされます。</p> <p>期間を指定する場合</p> <p>期間の開始日時と終了日時を「-」（ハイフン）で連結します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイムゾーンを指定しないとき <pre>{YYYYMMDDhhmmss} - {YYYYMMDDhhmmss}</pre> ・ タイムゾーンを指定するとき <pre>{YYYYMMDDhhmmss} {+または-} {TTZZ} - {YYYYMMDDhhmmss} {+または-} {TTZZ}</pre> <p>過去を指定する場合</p> <p>INTの正の値（intValue）と単位（unit）を「-」（ハイフン）で連結します。</p> <pre>{intValue} - {unit}</pre> <p>たとえば、過去2年を指定する場合は「2-year」と指定します。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ {YYYYMMDD} は、年月日です。{YYYY} に「西暦」、{MM} に「月」、{DD} に「日」を指定します。西暦は4けた、月と日は2けたで指定します。 ・ {hhmmss} は、時間です。{hh} に「時」、{mm} に「分」、{ss} に「秒」を、2けたで指定します。 ・ {TTZZ} は、タイムゾーンの時間です。{TT} に「時」（24時間制）、{ZZ} に「分」を、2けたで指定します。 ・ タイムゾーンを指定しなかったり省略したりした場合は、ログインユーザーのタイムゾーンが使用されます。ログインユーザーにタイムゾーンが設定されていないときは、システムのデフォルトのタイムゾーンが使用されます。 ・ {intValue} は、1以上の整数です。 ・ {unit} は、過去を指定する場合の単位です。「year」（年）、「week」（週）、「month」（月）、「day」（日）、「hour」（時）、「minute」（分）、または「second」（秒）のどれかを指定します。

表 : 属性値の表記方法一覧

型	説明
DOUBLE	JavaのDoubleが解釈できる文字列です。
INT	JavaのIntegerが解釈できる文字列です。
LONG	JavaのLongが解釈できる文字列です。
PRINCIPAL	ユーザー、グループのdnまたは特殊定数です。 特殊定数は、「自分自身」を表す「principalkey:myself」を指定します。
STRING	JavaのStringが解釈できる文字列です。
USERROLE	ユーザー、グループ、ユーザーロールのdnです。

参照 PRINCIPAL 型、USERROLE 型については、『ドキュメント管理サービス管理者ガイド』を参照してください。

2.3 属性検索演算子の表記方法

属性検索のときに使用できる演算子の表記方法を次に示します。演算子の`大文字`、`小文字`は区別しません。なお、属性型が構造体型、URI型の属性値に対する検索はできません。

表：属性検索演算子の表記方法一覧

属性型	演算子	値の数	URL生成アプリケーション画面上での表記
単値 ATOM	<code>equals</code>	1	等しい
	<code>notEquals</code>	1	除く
	<code>isNull</code>	0 (*1)	値なし
	<code>isNotNull</code>	0 (*1)	値あり
多値 ATOM (* 2)	<code>hasAll</code>	1以上	すべて含む
	<code>hasAny</code>	1以上	いずれか含む
	<code>notHaveAny</code>	1以上	含まない
	<code>isNull</code>	0 (*1)	値なし
	<code>isNotNull</code>	0 (*1)	値あり
単値 BOOLEAN	<code>boolean</code>	1	ブール型
	<code>isNull</code>	0 (*1)	値なし
	<code>isNotNull</code>	0 (*1)	値あり
多値 BOOLEAN	<code>hasBoolean</code>	1	含む
	<code>notHaveBoolean</code>	1	含まない
	<code>isNull</code>	0 (*1)	値なし
	<code>isNotNull</code>	0 (*1)	値あり
単値 DATE	<code>period</code>	1	期間
	<code>pastTime</code>	1	過去
	<code>specificTime</code>	1	指定
	<code>isNull</code>	0 (*1)	値なし
	<code>isNotNull</code>	0 (*1)	値あり

表：属性検索演算子の表記方法一覧

属性型	演算子	値の数	URL生成アプリケーション画面上での表記
多値 DATE	hasPeriod	1	期間含む
	hasPeriodMax	1	期間（最大要素）
	hasPeriodMin	1	期間（最小要素）
	hasPast	1	過去含む
	hasSpecify	1	指定含む
	isNull	0 (*1)	値なし
	isNotNull	0 (*1)	値あり
単値数値 (DOUBLE、INT、 LONG)	equal	1	=
	notEqual	1	≠
	greaterThan	1	>
	greaterEqual	1	≥
	range	1 (範囲)	範囲指定
	lessEqual	1	≤
	lessThan	1	<
	include	1以上	いずれか
	isNull	0 (*1)	値なし
	isNotNull	0 (*1)	値あり
多値数値 (DOUBLE、INT、 LONG)	hasAllNumber	1以上	すべて含む
	hasAnyNumber	1以上	いずれか含む
	notHaveAnyNumber	1以上	含まない
	hasGreaterThanNumber	1	>含む
	hasGreaterEqualNumber	1	≥含む
	hasRangeNumber	1 (範囲)	範囲含む
	hasLessThanNumber	1	<含む
	hasLessEqualNumber	1	≤含む
	isNull	0 (*1)	値なし
	isNotNull	0 (*1)	値あり

表 : 属性検索演算子の表記方法一覧

属性型	演算子	値の数	URL生成アプリケーション画面上での表記
単値 PRINCIPAL	oneOf	1以上	いずれか
	except	1以上	以外
	isNull	0 (*1)	値なし
	isNotNull	0 (*1)	値あり
多値 PRINCIPAL	hasAll	1以上	すべて含む
	hasAny	1以上	いずれか含む
	notHaveAny	1以上	含まない
	isNull	0 (*1)	値なし
	isNotNull	0 (*1)	値あり
単値 STRING	include	1以上	いずれか
	includeAll	1以上	すべて含む
	includeAny	1以上	いずれか含む
	exactlyMatch	1	完全一致
	notInclude	1以上	含まない
	isNull	0 (*1)	値なし
	isNotNull	0 (*1)	値あり
	greaterThan	1	>
	greaterEqual	1	≥
	lessEqual	1	≤
	lessThan	1	<
多値 STRING	hasAll	1以上	すべて含む
	hasAny	1以上	いずれか含む
	notHaveAny	1以上	含まない
	isNull	0 (*1)	値なし
	isNotNull	0 (*1)	値あり
	hasGreaterThanNumber	1	>含む
	hasGreaterEqualNumber	1	≥含む
	hasLessThanNumber	1	<含む

表：属性検索演算子の表記方法一覧

属性型	演算子	値の数	URL生成アプリケーション画面上での表記
単値 USERROLE	oneOf	1以上	いずれか
	except	1以上	以外
	isNull	0 (*1)	値なし
	isNotNull	0 (*1)	値あり
多値 USERROLE	hasAll	1以上	すべて含む
	hasAny	1以上	いずれか含む
	notHaveAny	1以上	含まない
	isNull	0 (*1)	値なし
	isNotNull	0 (*1)	値あり

* 1：isNull と isNotNull に対して値を指定してもエラーにはなりません。指定した値は無視されます。

* 2：「コンテンツラベルリスト」属性のみ。

3 インターフェイス詳細

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLの共通ユーザーインターフェイス、および各URLインターフェイスの詳細について説明します。

3.1 共通ユーザーインターフェイス

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLには、次に示す2つの共通ユーザーインターフェイスがあります。

エラー画面

エラー発生時に、エラーメッセージを表示する画面です。

エラー画面の動作はドキュメントスペースと同じです。

[ログイン] 画面

未認証のユーザーがURLを呼び出したときに表示される画面です。

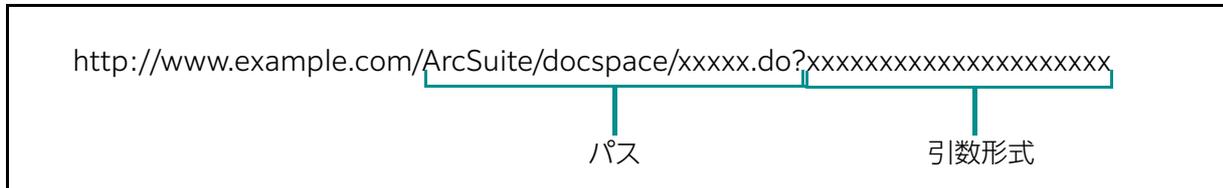
認証を行うには、この画面でユーザー名とパスワードを入力します。

認証後、呼び出したURLが実行されます。

3.2 URL インターフェイス

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLのURLインターフェイスについて説明します。

URLインターフェイスは、パスと引数群で構成されます。URLインターフェイスによっては、引数群には複数の引数形式（引数の記述形式）があります。パスと引数形式は"?"で連結された構成になっています。



URLインターフェイスの共通事項として、パスと引数形式について説明します。

3.3節以降に、各URLインターフェイスの詳細を示します。

パス

インターフェイスとなるパスを示します。

パスを用いたドキュメントスペース ドキュメント操作URLの利用方法を次に示します。

- ・パスを通常の URL と同様に、Web ブラウザーのアドレスバーに記述する方法
- ・パスをユーザーシステムの Web ページの中にリンクとして記述し、このリンクをクリックする方法
- ・パスをユーザーシステムの Web ページの中にフォームとして記述し、このフォームをサブミットする方法

補足 パスの「ArcSuite」は、ArcSuite のインストール時に、[HTTP サービス情報] 画面で指定した、仮想ディレクトリー名です。インストールした環境に合わせて、変更してください。

引数形式

URLインターフェイスの引数形式について記述します。共通の動作を次に記述します。

- ・説明では GET の形態で記述しています。POST の場合には、引数形式に対応するフォームの要素を作成してください。
- ・同じ URL に複数の引数形式がある場合には、引数形式 1、引数形式 2 という具合に引数形式ごとに記述します。ユーザーが、引数形式 1 と引数形式 2 を混在して指定した場合、引数形式番号のより小さい方の引数形式が優先されます。引数形式番号の判定は、引数形式の第 1 必須の引数（引数の表中一番上の行）があるかどうかで判定します。第 1 必須の引数で判断できない場合には、第 2、第 3 と引数をチェックします。第 1 必須の引数の引数名を間違えたなど、どの引数形式とも判断できない場合、エラーとし usage を表示します。
- ・引数形式にない引数名を指定した場合は無視されます。エラーにはなりません。

■ 例

引数形式の例を示します。ホスト名および仮想ディレクトリー名（ArcSuite）はインストールした環境に合わせて、変更してください。

■ 引数

引数形式の中で指定できる各引数を示します。項目については、次のとおりです。

◆ 名前

引数の名前を示します。

◆ 説明

引数の説明を示します。

◆ 型

引数の型を示します。URLはすべて文字列で表示されます。

参照 型については、[「2.2 属性値の表記方法」\(P.26\)](#)を参照してください。

◆ 単 / 多

引数が単値であるか、多値であるかを示します。多値となっているものは、「&」で区切って指定します。たとえば、引数aが多値の場合には、a=1&a=2&a=3のように記述します。

◆ 必須

○が記述されている引数は、必須の項目です。

◆ デフォルト

引数が省略された場合の初期値です。

◆ 列挙値

引数が列挙される（とり得る値をすべて列挙できる）場合の値です。

■ エラー

発生するエラーを示します。括弧の中の数字は、エラーのメッセージ番号を示します。

3.3 オブジェクト表示

指定された1つのオブジェクトを示す [ドキュメント一覧] 画面を表示します。

参照 [ドキュメント一覧] 画面については、『ドキュメントスペースのヘルプ』を参照してください。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/open.do
```

引数形式 1

指定したIDのオブジェクトの [オブジェクト表示] 画面を表示します。

```
enc= {UTF-8} &id= {id1}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/open.do?
enc=UTF-8&id=service1%3Acabinet1%3A1000000000000000
```

■ 引数

表: オブジェクト表示の引数形式 1 で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
id	対象オブジェクトのID	オブジェクトのID	多	○		
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

■ エラー

次の場合は、エラーになります。

- 指定された ID のオブジェクトが取得できない場合
オブジェクトが存在しない、アクセス権がなくて参照できない、オブジェクトを含むキャビネットがメンテナンスモードである場合を含む
- 複数の ID が指定された場合

引数形式 2

指定されたサービスの、指定された名前のキャビネット中で、attrIdで指定された属性がvalueで指定された値に等しいオブジェクトの [オブジェクト表示] 画面を表示します。多値は指定できません。

```
enc= {UTF-8} &service= {service1} &cabinet= {cabinet1} &attrId= {attrId1} &value=
{value1}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/open.do?
enc=UTF-8&service=cn%3Dkauai%2Dou%3Dcomponents%2Ddc%3Dksp%2Ddc%3Dfujifilm%2Ddc%
3Dco%2Ddc%3Djp&cabinet=cab1&attrId=UTF%2D8%3Aid%3Aattribute%3Aprefix%3Duser%3Aname%3DdrawingNumber&value=10001
```

■ 引数

表 : オブジェクト表示の引数形式 2 で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
service	検索対象とするサービスの名前	サービス名	単	○		
cabinet	検索対象とするキャビネットの名前	名前	単	○		
attrId	属性	属性ID	単	○		
value	属性値	属性値	単	○		
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

■ エラー

次の場合は、エラーになります。

- ・ 指定されたサービスが存在しない場合
- ・ 指定されたキャビネットが存在しない場合
- ・ 指定された属性が存在しない場合
- ・ 指定された属性の型がサポート範囲外である場合
- ・ 属性値の記述に誤りがある場合
- ・ 検索に失敗した場合
- ・ 検索の結果に該当するオブジェクトが存在しない場合
- ・ 検索結果が複数のオブジェクトである場合

引数形式 3

指定されたサービスの、指定された名前のワークスペース中で、指定された検索設定の検索条件で検索した結果の基本オブジェクトの [オブジェクト表示] 画面を表示します。

```
enc= {UTF-8} &service= {service1} &workspace= {workspace1} &condition=
{condition1}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/open.do?
enc=UTF-8&service=cn%3Dkauai%2Dou%3Dcomponents%2Ddc%3Dksp%2Ddc%3Dfujifilm%2Ddc%3
Dco%2Ddc%3Djp&workspace=w1&condition=dailyApproval&item=0%3Aoperator%3Aequals&it
em=0%3Avalue%3A0&item=2%3Aoperator%3Ainclude&item=2%3Avalue%3Aabc&item=2%3Avalue
%3Axyz&fts=operator%3Aor&fts=keyword%3Ablack&fts=keyword%3Awhite&fts=useThesauru
s%3Atrue
```

■ 引数

表：オブジェクト表示の引数形式 3 で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
service	サービスの名前	サービス名	単	○		
workspace	検索設定のあるワークスペースの名前	名前	単	○		
condition	検索設定名	名前	単	○		
item	実行時入力項目値（属性） 複数ある場合は複数回指定する。 指定されない項目は無視する	実行時入力項目（属性）	多			
fts	実行時入力項目値（全文）	実行時入力項目（全文）	多			
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

■ エラー

次の場合は、エラーになります。

- ・ 指定されたサービスが存在しない場合
- ・ 指定されたワークスペースが存在しない場合
- ・ 指定された名前のワークスペースが複数存在する場合
- ・ 指定された検索設定が存在しない場合
- ・ 指定された名前の検索設定が複数存在する場合
- ・ 実行時入力項目値の記述に誤りがある場合
- ・ 指定された実行時入力項目が存在しない場合
- ・ 検索に失敗した場合
- ・ 検索の結果該当するオブジェクトが存在しない場合
- ・ 指定された項目は実行時入力できない場合
- ・ 検索結果が複数のオブジェクトである場合

引数形式 4

指定された検索設定の検索条件で検索した結果の基本オブジェクトの [オブジェクト表示] 画面を表示します。

```
enc= {UTF-8} &sid= {kiel%3Aworkspace_cab_01%3A112047422137625}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/  
open.do?sid=kiel%3Aworkspace_cab_01%3A112047422137625&item=3%3Aoperator%3Ainclude&item=3%3Avalue%3A1+2+3+++5
```

■ 引数

表 : オブジェクト表示の引数形式 4 で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
sid	検索設定のid	オブジェクトID	単	○		
item	実行時入力項目値 (属性)。複数ある場合は複数回指定する。指定されない項目は無視する	実行時入力項目 (属性)	多			
fts	実行時入力項目値 (全文)	実行時入力項目 (全文)	多			
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

■ エラー

次の場合は、エラーになります。

- ・ 指定された検索設定が存在しない場合
- ・ 実行時入力項目値の記述に誤りがある場合
- ・ 指定された実行時入力項目が存在しない場合
- ・ 検索に失敗した場合
- ・ 検索の結果該当するオブジェクトが存在しない場合
- ・ 指定された項目は実行時入力できない場合
- ・ 検索結果が複数のオブジェクトである場合

3.4 ダウンロード

指定されたオブジェクトのダウンロードを行う [ダウンロード] 画面を表示します。

参照 [ダウンロード] 画面については、『ドキュメントスペース管理アプリケーションのヘルプ』を参照してください。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/download.do
```

引数形式 1 ~ 4

ダウンロードの引数形式1~4は、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式1~4と同じです。

参照 ダウンロードの引数形式については、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式を参照してください。

3.5 コンテント表示

指定されたオブジェクトの実体画像を示す [コンテント表示] 画面を表示します。

参照 [コンテント表示] 画面については、『表示アプリケーションのヘルプ』を参照してください。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/contentView.do
```

引数形式 1

コンテント表示の引数形式1は、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式1と同じです。

ただし、エラーについては、次のものが加わります。

■ エラー

表示できないオブジェクトが含まれる場合

参照 コンテント表示の引数形式 1 については、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式 1 を参照してください。

引数形式 2

コンテント表示の引数形式2は、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式2と同じです。

ただし、エラーについては、次のものが加わります。

■ エラー

表示できないオブジェクトが含まれる場合

参照 コンテント表示の引数形式 2 については、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式 2 を参照してください。

引数形式 3

コンテント表示の引数形式3は、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式3と同じです。

ただし、エラーについては、次のものが加わります。

■ エラー

表示できないオブジェクトが含まれる場合

参照 コンテント表示の引数形式 3 については、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式 3 を参照してください。

引数形式 4

コンテント表示の引数形式4は、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式4と同じです。

ただし、エラーについては、次のものが加わります。

■ エラー

表示できないオブジェクトが含まれる場合

参照 コンテント表示の引数形式 4 については、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式 4 を参照してください。

3.6 インデックス画像表示

指定されたオブジェクトのインデックス画像を示す [インデックス画像表示] 画面を表示します。

参照 [インデックス画像表示] 画面については、『表示アプリケーションのヘルプ』を参照してください。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/indexView.do
```

引数形式 1

インデックス画像表示の引数形式1は、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式1と同じです。

ただし、エラーについては、次のものが加わります。

■ エラー

表示できないオブジェクトが含まれる場合

参照 インデックス画像表示の引数形式 1 については、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式 1 を参照してください。

引数形式 2

インデックス画像表示の引数形式2は、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式2と同じです。

ただし、エラーについては、次のものが加わります。

■ エラー

表示できないオブジェクトが含まれる場合 (0019)

参照 インデックス画像表示の引数形式 2 については、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式 2 を参照してください。

引数形式 3

インデックス画像表示の引数形式3は、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式3と同じです。

ただし、エラーについては、次のものが加わります。

■ エラー

表示できないオブジェクトが含まれる場合

参照 インデックス画像表示の引数形式 3 については、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式 3 を参照してください。

引数形式 4

インデックス画像表示の引数形式4は、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式4と同じです。

ただし、エラーについては、次のものが加わります。

■ エラー

表示できないオブジェクトが含まれる場合

参照 インデックス画像表示の引数形式 4 については、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式 4 を参照してください。

3.7 検索設定表示

指定された検索設定を示す [検索設定] 画面を表示します。

参照 [検索設定] 画面については、『ドキュメントスペースのヘルプ』を参照してください。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/searchCondition.do
```

引数形式 1 ~ 2

検索設定表示の引数形式1~2は、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式3~4と同じです。

ただし、引数の [item] を省略してください。

参照 検索設定表示については、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式を参照してください。

3.8 検索設定一覧表示

指定されたワークスペースが持つ検索設定の一覧を表示します。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/searchConditionList.do
```

引数形式 1

指定されたサービスの、指定された名前のワークスペース中の検索設定の一覧を表示します。

```
enc= {UTF-8} &service= {service} &workspace= {workspace}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/
searchConditionList.do?enc=UTF-8&service=cn%3Dkauai%2Dou%3Dcomponents%2Ddc%3Dksp
%2Ddc%3Dfujifilm%2Ddc%3Dco%2Ddc%3Djp&workspace=w1
```

■ 引数

表：検索設定一覧表示の引数形式 1 で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
service	サービスの名前	サービス名	単	○		
worksp ace	ワークスペースの名前	名前	単	○		
enc	エンコーディングされ ている文字コードセッ ト	文字列型			csWindow s31J	

■ エラー

次の場合は、エラーになります。

- ・ 指定されたサービスが存在しない場合
- ・ 指定されたワークスペースが存在しない場合
- ・ 指定された名前のワークスペースが複数存在する場合

引数形式 2

指定されたワークスペース中の検索設定の一覧を表示します。

```
enc= {UTF-8} &id= {id1}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/
searchConditionList.do?id=service1%3Acabinet1%3A1000000000000000
```

■ 引数

表 : 検索設定一覧表示の引数形式 2 で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
id	ワークスペースのid	オブジェクトID	単	○		
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

■ エラー

指定されたワークスペースが存在しない場合

3.9 詳細検索結果表示

指定した検索設定の検索条件で検索した結果を示す [ドキュメント一覧] 画面を表示します。

参照 [ドキュメント一覧] 画面については、『ドキュメントスペースのヘルプ』を参照してください。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/search.do
```

引数形式 1 ~ 2

詳細検索結果表示の引数形式1~2は、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式3~4と同じです。

参照 詳細検索結果表示については、[\[3.3 オブジェクト表示\] \(P.36\)](#) の引数形式を参照してください。

3.10 簡易検索結果表示

指定したキーワードで簡易検索した結果を示す [オブジェクト一覧] 画面を表示します。

参照 [オブジェクト一覧] 画面については、『ドキュメントスペースのヘルプ』を参照してください。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/simpleSearch.do
```

引数形式

指定されたサービス内を指定したキーワードで簡易検索した結果の画面を表示します。

```
enc= {UTF-8} &service= {service1} &keyword= {keyword1}
```

例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/simpleSearch.do?
enc=UTF-8&service=cn%3Dkauai%2Dou%3Dcomponents%2Ddc%3Dksp%2Ddc%3Dfujifilm%2Ddc%3
Dco%2Ddc%3Djp&keyword=draft
```

引数

表 : 簡易検索結果表示で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
service	サービスの名前。指定しない場合はすべてのサービス	サービス名	単			
keyword	キーワード	キーワード	単	○		
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

エラー

次の場合は、エラーになります。

- ・ 指定されたサービスが存在しない場合
- ・ 検索に失敗した場合

3.11 新規詳細検索表示

新規の詳細検索画面を表示します。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/detailSearchCondition.do
```

引数形式

新規の詳細検索画面を表示します。必須の引数は存在せず、指定された引数を元に表示する詳細検索の各値を初期化します。

例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/detailSearchCondition.do?enc=UTF-8&service=cn%3Dkauai%2Dou%3Dcomponents%2Ddc%3Dksp%2Ddc%3Dfuji%2Dfilm%2Ddc%3Dco%2Ddc%3Djp&id=service1%3Acabinet1%3F000001&id=service1%3Acabinet1%3F000002
```

引数

表：新規詳細検索表示で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
service	検索対象とするサービスの名前	サービス名	単			
id	検索対象とするオブジェクトのID	オブジェクトID	多			
attrItem	検索条件属性値	検索条件属性	多			
attrOption	検索条件属性の属性値以外の入力項目	検索条属性オプション	多			
viewItem	表示条件属性値	表示条件属性	多			
viewOption	表示条件の属性以外の入力項目	表示条件オプション	多			
sortItem	ソート条件属性値	ソート条件属性	多			
fts	全文検索条件値	全文検索条件	多			
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindow s31J	

■ エラー

次の場合は、エラーになります。

- ・ 指定されたサービスが存在しない場合
- ・ 指定された ID のオブジェクトが存在しない場合。アクセス権がなくて参照できないものも含む
- ・ 指定された属性が存在しない場合
- ・ 指定された属性の型がサポート範囲外の場合
- ・ 検索条件属性値の記述に誤りがある場合
- ・ 検索条件属性値の検索条件の属性値以外の入力項目に誤りがある場合
- ・ 表示条件属性値の記述に誤りがある場合
- ・ 表示条件の属性以外の入力項目に誤りがある場合
- ・ ソート条件属性値の記述に誤りがある場合
- ・ 全文検索条件値の記述に誤りがある場合
- ・ 論理式の記述に誤りがある場合

3.12 新規詳細検索結果表示

新規の詳細検索を実施し、その検索結果を表示します。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/detailSearch.do
```

引数形式

新規の詳細検索画面を表示します。必須の引数は存在せず、指定された引数を元に表示する詳細検索の各値を初期化します。

少なくとも1つの検索対象と1つの検索属性条件値、または全文検索条件値を指定します。

```
enc= {UTF-8} &service= {service1} &attrItem {:0:name:attributeName} &attrItem {:0:operator:include} &attrItem {:0:value:attributeValue}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/detailSearch.do?enc=UTF-8&service=cn%3Dkauai%2Dou%3Dcomponents%2Ddc%3Dksp%2Ddc%3Dfujifilm%2Ddc%3Dco%2Ddc%3Djp&id=service1%3Acabinet1%3F000001&id=service1%3Acabinet1%3F000002
```

■ 引数

表：新規詳細検索結果表示で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
service	検索対象とするサービスの名前	サービス名	単	*1		
id	検索対象とするオブジェクトのID	オブジェクトID	多	*1		
attrItem	検索条件属性値	検索条件属性	多	*2		
attrOption	検索条件属性の属性値以外の入力項目	検索条属性オプション	多		[属性結合条件 (operator)] : すべてを満たす (and) [英文字大小区別 (caseSensitive)] : 区別しない(true)	
viewItem	表示条件属性値	表示条件属性	多	*3		

表 : 新規詳細検索結果表示で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
viewOption	表示条件の属性以外の入力項目	表示条件オプション	多		<p>[ツリー表示 (withViewingTree)] : 表示する(true)</p> <p>[プロパティ表示 (viewingProperties ViewArea)] : 個人の表示設定に従う</p> <p>個人の表示設定がない場合は、デフォルトの表示設定に従う (true/false)</p> <p>[プロパティ表示位置 (propertiesViewAreaPosition)] : 個人の表示設定に従う</p> <p>個人の表示設定がない場合は、デフォルトの表示設定に従う (UNDER/RIGHT)</p> <p>[表示形式 (listStyle)] : リスト(detail)</p> <p>[最大表示件数 (maxCount)] : 2000</p> <p>[1ページの表示件数 (displayCountPerPage)] : 20</p> <p>[画像表示デフォルトコンテンツラベル (contentLabelForContentViewArea)] : プライマリ画像 (view)</p>	
sortItem	ソート条件属性値	ソート条件属性	多		ソート属性なしとしてサービスが返す検索結果を表示する	

表 :新規詳細検索結果表示で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
fts	全文検索条件値	全文検索条件	多	* 2		
	全文検索の条件値以外の入力項目	全文検索オプション			[類義語検索 (useThesaurus)] : なし(false) [英単語変化形検索 (useStemming)] : なし(false)	
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

* 1 : service または id の少なくとも、どちらか一方を 1 つ以上指定します。

* 2 : attrItem または fts の少なくとも、どちらか一方が検索可能となる条件を必要とします。

* 3 : viewItem は少なくとも 1 つの表示属性を必要とします。

■ エラー

[\[3.11 新規詳細検索表示\] \(P.48\)](#) と同じです。

ただし、次の項目を追加します。

- ・ 検索に失敗した場合

3.13 サービス表示

指定したサービスを表示します。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/service.do
```

引数形式

```
enc= {UTF-8} &service= {service1}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/
service.do?enc=UTF-8&service=cn%3Dkauai%2Dou%3Dcomponents%2Ddc%3Dksp%2Ddc%3Dfuji
film%2Ddc%3Dco%2Ddc%3Djp
```

■ 引数

表：サービス表示で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
service	サービスの名前	サービス名	単	○		
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

■ エラー

指定されたサービスが存在しない場合

3.14 ObjectID 指定検索結果表示

ドキュメント管理サービスのオブジェクトIDを指定して検索を実施し、その検索結果を表示します。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/idSearch.do
```

引数形式

指定したIDを持つオブジェクト検索画面を表示します。必須の引数は存在せず、指定された引数を元に表示するObjectID指定検索の各値を初期化します。

少なくとも1つの検索対象を指定します。

```
enc= {UTF-8} &id= {id1} &id= {id2} &id= {id3}
```

例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/
idSearch.do?enc=UTF-8&id=service1%3Acabinet1%3F000001&id=service1%3Acabinet1
%3F000002
```

引数

表 : ObjectID 指定検索結果表示で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
id	検索対象とするオブジェクトのID	オブジェクトID	多	○		
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

エラー

次の場合は、エラーになります。

- ・ 検索に失敗した場合
- ・ オブジェクト ID の書式に誤りがある場合
- ・ 指定された引数がサポートされていない場合
- ・ 指定されたサービスが存在しない場合
- ・ 指定されたキャビネットが存在しない場合
- ・ サービス ID を表す ID を指定した場合
- ・ リビジョンを表す ID を指定した場合
- ・ 指定された ID のオブジェクトが取得できない場合。アクセス権がなくて参照できない、オブジェクトを含むキャビネットがメンテナンスモードである場合も含む

3.15 リモート編集

指定された1つのオブジェクトのリモート編集画面を表示します。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/remoteEdit.do
```

引数形式

指定したIDのオブジェクトの [リモート編集] 画面を表示します。

```
enc= {UTF-8} &id= {id1}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/remoteEdit.do?
enc=UTF-8&id=service1%3Acabinet1%3A1000000000000000
```

■ 引数

表：リモート編集で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
id	表示対象オブジェクトのID	オブジェクトのID	多	○		
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindow s31J	

■ エラー

次の場合は、エラーになります。

- ・複数のIDが指定された場合
- ・リモート編集不可のオブジェクトが指定された場合

3.16 プリンタープロパティ

指定したプリンターのプロパティを示す [プリンタープロパティ] 画面を表示します。表示時のモード (状態、キュー、アカウント) を指定できます。

参照 [プリンタープロパティ] 画面については、『ArcEPS 印刷アプリケーションのヘルプ』を参照してください。

パス

```
/ArcSuite/docspace/sdk/printerProperty.do
```

引数形式 1

指定した論理プリンター URI のプリンターのプロパティを表示します。

```
enc= {UTF-8} &printer= {printer1} &openMode= {mode1}
```

例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/printerProperty.do?
enc=UTF-8&printer=http%3A%2F%2Fruby%2Easd%2Eksp%2Efujifilm%2Eco%2Ejp%2
Fdps%2FBT8030ruby&openMode=account
```

引数

表: プリンタープロパティの引数形式 1 で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
printer	プリンターの論理プリンター URI	論理プリンター名	単	○		
openMode	オープン時のモード	列挙値のどれかの値	単		status	status queue account
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

エラー

次の場合は、エラーになります。

- ・ 指定された論理プリンター URI のプリンターが存在しない場合
- ・ openMode が正しくない場合
- ・ 印刷機能がない場合

引数形式 2

指定した論理プリンター名のプリンターをデフォルトシステムから検索し、そのプリンターのプロパティを表示します。

```
enc= {UTF-8} &printerName= {printerName1} &openMode= {mode1}
```

例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/printerProperty.do?
enc=UTF-8&printerName=BT8030ruby&openMode=account
```

引数

表：プリンタープロパティの引数形式 2 で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
printer	プリンターの論理プリンター	論理プリンター名	単	○		
openMode	オープン時のモード	列挙値のどれかの値	単		status	status queue account
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindow s31J	

エラー

次の場合は、エラーになります。

- ・ 指定された論理プリンター名のプリンターが存在しない場合
- ・ 指定された論理プリンター名のプリンターが複数存在する場合
- ・ openMode が正しくない場合
- ・ 印刷機能がない場合

3.17 印刷要求

指定したオブジェクトの印刷要求を行う [印刷] 画面を表示します。

参照 [印刷] 画面については、『ArcEPS 印刷アプリケーションのヘルプ』を参照してください。

パス

```
/ArcSuite//docspace/sdk/print.do
```

引数形式 1

指定したIDのオブジェクトの [印刷要求] 画面を表示します。

```
enc= {UTF-8} &id= {id1}
```

例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/print.do?
enc=UTF-8&id=service1%3Acabinet1%3A1000000000000000
```

引数

表 : 印刷要求の引数形式 1 で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
id	印刷対象オブジェクトのID	オブジェクトのID	多	○		
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

エラー

次の場合は、エラーになります。

- 指定された ID のオブジェクトが取得できない場合。オブジェクトが存在しない、アクセス権がなくて参照できない、オブジェクトを含むキャビネットがメンテナンスモードである場合を含む
- 印刷機能がない場合
- 印刷できないオブジェクトが含まれる場合

引数形式 2

指定されたサービスの、指定された名前のキャビネット中で、attrIdで指定された属性がvalueで指定された値に等しいオブジェクトの [印刷要求] 画面を表示します。多値は指定できません。

```
enc= {UTF-8} &service= {service1} &cabinet= {cabinet1} &attrId= {attrId1} &value=
{value1}
```

例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/print.do?
enc=UTF-8&service=cn%3Dkauai%2Dou%3Dcomponents%2Ddc%3Dksp%2Ddc%3DFUJIFILM%2Ddc%
3Dco%2Ddc%3Djp&cabinet=cab1&attrId=UTF%2D8%3Aid%3Aattribute%3Aprefix%3Duser%3Aname%3DdrawingNumber&value=10001
```

■ 引数

表 :印刷要求の引数形式 2 で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
service	検索対象とするサービスの名前	サービス名	単	○		
cabinet	検索対象とするキャビネットの名前	名前	単	○		
attrId	属性	属性ID	単	○		
value	属性値	属性値	単	○		
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

■ エラー

次の場合は、エラーになります。

- ・ 指定されたサービスが存在しない場合
- ・ 指定されたキャビネットが存在しない場合
- ・ 指定された属性が存在しない場合
- ・ 指定された属性の型がサポート範囲外である場合
- ・ 属性値の記述に誤りがある場合
- ・ 検索に失敗した場合
- ・ 検索の結果に該当するオブジェクトが存在しない場合
- ・ 印刷機能がない場合
- ・ 印刷できないオブジェクトが含まれる場合

引数形式 3

指定されたサービスの、指定された名前のワークスペース中で、指定された検索設定の検索条件で検索した結果の基本オブジェクトの [印刷要求] 画面を表示します。

```
enc= {UTF-8} &service= {service1} &workspace= {workspace1} &condition=
{condition1}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/print.do?
enc=UTF-8&service=cn%3Dkauai%2Dou%3Dcomponents%2Ddc%3Dksp%2Ddc%3DFUJIFILM%
2Ddc%3Dco%2Ddc%3Djp&workspace=w1&condition=dailyApproval&item=0%3Aoperator%3Aeq
uals&item=0%3Avalue%3A0&item=2%3Aoperator%3Ainclude&item=2%3Avalue%3Aabc&item=2%
3Avalue%3Axyz&fts=operator%3Aor&fts=keyword%3Ablack&fts
=keyword%3Awhite&fts=useThesaurus%3Atrue
```

■ 引数

表 : 印刷要求の引数形式 3 で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
service	サービスの名前	サービス名	単	○		
workspace	検索設定のあるワークスペースの名前	名前	単	○		
condition	検索設定名	名前	単	○		
item	実行時入力項目値 (属性)。複数ある場合は複数回指定する。指定されない項目は無視する	実行時入力項目 (属性)	多			
fts	実行時入力項目値 (全文)	実行時入力項目 (全文)	多			
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

■ エラー

次の場合は、エラーになります。

- ・ 指定されたサービスが存在しない場合
- ・ 指定されたワークスペースが存在しない場合
- ・ 指定された名前のワークスペースが複数存在する場合
- ・ 指定された検索設定が存在しない場合
- ・ 指定された名前の検索設定が複数存在する場合
- ・ 実行時入力項目値の記述に誤りがある場合
- ・ 指定された実行時入力項目が存在しない場合
- ・ 検索に失敗した場合
- ・ 検索の結果該当するオブジェクトが存在しない場合
- ・ 指定された項目は実行時入力できない場合
- ・ 印刷機能がない場合
- ・ 印刷できないオブジェクトが含まれる場合

引数形式 4

指定された検索設定の検索条件で検索した結果の基本オブジェクトの [印刷要求] 画面を表示します。

```
enc= {UTF-8} &sid= {kiel%3Aworkspace_cab_01%3A112047422137625}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/open.do?sid=kiel%3Aworkspace_cab_01%3A112047422137625&item=3%3Aoperator%3Ainclude&item=3%3Avalue%3A1+2+3+++5
```

■ 引数

表 :印刷要求の引数形式 4 で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
sid	検索設定のid	オブジェクトID	単	○		
item	実行時入力項目値 (属性)。複数ある場合は複数回指定する。指定されない項目は無視する	実行時入力項目 (属性)	多			
fts	実行時入力項目値 (全文)	実行時入力項目 (全文)	多			
enc	エンコーディングされている文字コードセット	文字列型			csWindows31J	

■ エラー

次の場合は、エラーになります。

- ・ 指定された検索設定が存在しない場合
- ・ 実行時入力項目値の記述に誤りがある場合
- ・ 指定された実行時入力項目が存在しない場合
- ・ 検索に失敗した場合
- ・ 検索の結果該当するオブジェクトが存在しない場合
- ・ 指定された項目は実行時入力できない場合
- ・ 印刷機能がない場合
- ・ 印刷できないオブジェクトが含まれる場合



付録

この章では、URL 生成アプリケーション、新規詳細検索URL 作成について説明します。

付録 A URL 生成アプリケーション

URL生成アプリケーションとは、ドキュメントスペース ドキュメント操作URLのインターフェイスに対応したURL文字列を生成するものです。

URL生成アプリケーションは、アプリケーション開発者がドキュメントスペース ドキュメント操作URLを使用してアプリケーションを開発するときに、実現したい機能に応じたURL文字列を作成できます。

付録 A.1 概要

ドキュメントスペース ドキュメント操作URLは、ドキュメントスペースの機能に、URLを指定して接続する機能です。

URL生成アプリケーションは、GUIを使用して、ドキュメントスペース ドキュメント操作URLを生成します。

URL 生成アプリケーションの URL

URL生成アプリケーションを起動するURLを次に示します。

```
http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/index.jsp
```

注意事項

URL生成アプリケーションを使用して生成したURLの動作は、そのURLを生成したユーザーのアクセス権だけ保証されます。アクセス権の異なるユーザーが同じリクエストをURLに使用しても必ずしも同じ結果になりません。

また、URL作成アプリケーションでは「ObjectID指定検索結果表示」、および「リモート編集」のURL生成機能には対応していません。

[URL 生成ツール] リンク

[ドキュメントスペース管理] 画面からアクセスできます。

[URL生成ツール] リンクをクリックすると、[URL生成] 画面へ遷移します。

共通ユーザーインターフェイス

URL生成アプリケーションで、共通のユーザーインターフェイスについて説明します。

■ ウィンドウタイトル

Webブラウザのウィンドウタイトルです。

■ メインコントロール

URL生成アプリケーションの各Webページの上部に配置される、コンポーネント名などが表示される部品です。

■ エラー画面

エラー発生時に、エラーメッセージを表示する画面です。ウィンドウの [戻る] ボタンをクリックして、画面を表示します。

■ 文字列表示ウィンドウ

生成されたURL、またはFORMタグの文字列が表示されるウィンドウです。ウィンドウの [表示] ボタンをクリックすると表示されます。

- ・ URL はエンコードされた状態で表示されます。
- ・ FORM タグの文字列は、DOCTYPE 4.01、文字コード UTF-8 の HTML のテキストとして表示されます。表示される HTML の例を次に示します。

例 1) オブジェクト表示 引数形式 2 属性オブジェクトカテゴリーがドキュメントである場合

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN">
<html>
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8">
<title></title>
</head>
<body>
<form action="http://www.example.com/ArcSuite/docspace/sdk/
open.do"target="_blank" method="GET">
<input type="hidden"
name="service" value="cn=kauai,ou=components,dc=ccc,dc=FUJIFILM,dc=co,dc=jp" />
<input type="hidden" name="cabinet" value="cabinet_no_1" />
<input type="hidden" name="attrId" value="UTF-
8:id:attribute:prefix=73797374656d:name=6f626a65637463617465676f7279" />
<input type="hidden" name="value" value="UTF-
8:atom:prefix=73797374656d:name=646f63756d656e74" />
<input type="submit" />
</form>
</body>
</html>
```

■ 警告メッセージウィンドウ

URL生成アプリケーション操作時の誤操作を警告する小さなウィンドウです。このウィンドウは、Webブラウザ使用時の一般的な警告メッセージウィンドウと同じです。警告メッセージウィンドウが表示されたら、メッセージを確認後、[OK] ボタンをクリックしてください。

■ [ログイン] 画面

URL生成アプリケーションを使用するとき、利用するユーザーが未認証の場合に、そのユーザーを認証するために強制的に遷移するシステム共通の画面です。すでに認証済みの場合には表示しません。ユーザー名とパスワード入力によるユーザー認証後、元のページに戻ります。

参照 [ログイン画面] については、『ポータル画面のヘルプ』を参照してください。

■ アドレス帳

PRINCIPAL型、USERROLE型の属性に対して属性値を設定するとき、ユーザーを選択するために使用するシステム共通の画面です。ただし、URL生成アプリケーション側が単値しか許していない属性で、アドレス帳から複数のユーザーを設定しようとした場合は、URL生成アプリケーション側に送信された一番目のユーザーだけを設定対象とします。

付録 A.2 [URL 生成 - オブジェクト表示] 画面

[URL生成-オブジェクト表示] 画面は、オブジェクト表示機能を利用するURLを生成する画面です。

[URL生成-オブジェクト表示] 画面の各項目について説明します。

補足 [オブジェクトの指定方法] での選択内容に応じて、項目が変わります。
それぞれの項目については後述します。

リクエストの出力形式

生成する文字列の形をURLとFORMのどちらかを選択します。

リクエストの種別

[送信] ボタンをクリックしたときに送信されるmethodを選択します。

また、リクエストの出力形式でFORMを選択した場合には、FORMタグのmethodの値に、ここで選択した値が入ります。

オブジェクトの指定方法

オブジェクト表示対象のオブジェクトを指定する方法を選択します。[オブジェクトIDを指定]、[属性値を検索]、[検索設定を使用] の3つのどれかを選択できます。

オブジェクトの指定方法を選択すると、選択した指定方法に応じた入力項目が表示されます。

[オブジェクト ID を指定] を選択した場合の入力項目

参照 [オブジェクト ID を指定] を選択した場合の入力項目については、[\[付録 A.2.1 オブジェクト ID を指定\] \(P.66\)](#) を参照してください。

[属性値を検索] を選択した場合の入力項目

参照 [属性値を検索] を選択した場合の入力項目については、[\[付録 A.2.2 属性値を検索\] \(P.67\)](#) を参照してください。

[検索設定を名前で指定] を選択した場合の入力項目

参照 [検索設定を名前で指定] を選択した場合の入力項目については、[\[付録 A.2.3 検索設定を名前で指定\] \(P.70\)](#) を参照してください。

[検索設定を ID で指定] を選択した場合の入力項目

参照 [検索設定を ID で指定] を選択した場合の入力項目については、[\[付録 A.2.4 検索設定をオブジェクト ID で指定\] \(P.72\)](#) を参照してください。

[表示] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるURL文字列が、文字列表示ウィンドウの中に表示されます。

[送信] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるリクエストが実際に送信されます。これによって、実際にURLがどのような動きをするかが確認できます。

付録 A.2.1 オブジェクト ID を指定

[オブジェクトの指定方法] で、[オブジェクトIDを指定] を選択した場合の入力項目について説明します。

オブジェクト表示対象のオブジェクトのIDがすでにわかっている場合、直接指定をするときには、この指定方法を選択します。

入力欄にオブジェクトIDを入力します。

複数指定する場合は、入力欄に値を入力し、[追加] ボタンをクリックすると、オブジェクトIDを複数指定できます。また、追加されたオブジェクトIDのリストから1つ以上の値を選択し、[削除] ボタンをクリックすると、選択したIDを削除できます。

オブジェクトIDを複数追加できるのは、

- ・ダウンロード
- ・コンテンツ表示
- ・インデックス表示

です。

各項目について説明します。

オブジェクト ID – 追加入力欄

RLの生成で選択した対象とするオブジェクトのIDを入力する欄です。

[オブジェクト ID] リストボックス

オブジェクト表示対象となるオブジェクトのIDがリスト表示されます。

[追加] ボタン

クリックすると、追加入力欄に入力されているオブジェクトIDがオブジェクト表示対象として追加されます。追加されたオブジェクトIDは、[オブジェクトID] リストボックスに追加表示されます。

[削除] ボタン

クリックすると、[オブジェクトID] リストボックスで選択されているオブジェクトIDが削除されます。複数選択して一度に削除することもできます。

警告メッセージ

次の場合に警告メッセージが表示されます。

- ・ [表示] ボタンまたは [送信] ボタンをクリックしたときに、[オブジェクト ID] の値が入力されていない場合

付録 A.2.2 属性値を検索

[オブジェクトの指定方法] で、[属性値を検索] を選択した場合の入力項目について説明します。

キャビネットを指定し、任意の属性に対して単値での検索でヒットしたオブジェクトをオブジェクト表示とする場合に、この方法を指定します。

この方法を指定した場合、参照可能なサービスの一覧が表示されます。一覧から任意のサービスを選択すると、そのサービスが持つ参照可能なキャビネットの一覧が表示されます。一覧の中からキャビネットを選択すると、そのキャビネットが持つ検索可能な属性のうち、ドキュメントスペース ドキュメント操作URLがサポートする属性の一覧が表示されます。一覧から任意の属性を選択すると、その属性の型に合った属性の入力フォームが表示されます。

各項目について説明します。

[サービス] プルダウンメニュー

ログインユーザーが参照可能なドキュメント管理サービスの一覧がプルダウンメニューで表示されます。

デフォルトは、[未選択] です。

該当のサービスを選択すると、[キャビネット] が選択可能になります。

参照できるドキュメント管理サービスが1つも存在しない場合は、「参照可能なサービスがありません。」と表示されます。

[キャビネット] プルダウンメニュー

[サービス] で選択したサービスが持つ参照可能なキャビネットの一覧がプルダウンメニューで表示されます。

デフォルトは、[未選択] です。

該当のキャビネットを選択すると、[属性名] が選択可能になります。

参照できるキャビネットが1つも存在しない場合は、「参照可能なキャビネットがありません。」と表示されません。

[属性名] プルダウンメニュー

[キャビネット] で選択したキャビネットが持つ属性の中で、ドキュメントスペース ドキュメント操作URLがサポートし、検索できる単値の属性一覧がプルダウンメニューで表示されます。

デフォルトは、[未選択] です。

該当の属性を選択すると、属性値の入力欄が表示されます。

条件に該当する属性が1つも存在しない場合は、「検索に有効な属性がありません。」と表示されます。

属性値

[属性名] で選択した属性の型に適した設定項目が表示されます。次にそれぞれの型についての入力フォームを説明します。

■ ATOM 型

キャビネットごとに設定されている属性を、プルダウンメニューから選択します。

選択可能な属性が存在しない場合は、「属性「{0}」が値として取りえるATOMが定義されていません。この属性を検索に用いることはできません。」と表示されます。



図：ATOM 型の属性入力フォーム

■ BOOLEAN 型

[TRUE] と [FALSE] のどちらかのラジオボタンを選択します。
デフォルトは、[TRUE] です。

図：BOOLEAN 型の属性入力フォーム

■ DATE 型

期間指定をするかしないかをラジオボタンで選択します。
ラジオボタンの選択に応じて、設定項目が変わります。

◆ [期間指定をしない] を選択した場合

図：DATE 型の属性入力フォーム：[期間指定をしない] を選択した場合

◆ [期間指定をする] を選択した場合

開始日と終了日両方を指定する必要があります。

図：DATE 型の属性入力フォーム：[期間指定をする] を選択した場合

- ・年号
4桁の年号を入力します。
デフォルトでは現在の年号が表示されています。
- ・月
プルダウンメニューから月を選択します。
デフォルトでは [省略] が選択されています。
- ・日
プルダウンメニューから日を選択します。
デフォルトでは [省略] が選択されています。
- ・時
プルダウンメニューから時を選択します。
デフォルトでは [省略] が選択されています。
- ・分
プルダウンメニューから分を選択します。
デフォルトでは [省略] が選択されています。
- ・秒
プルダウンメニューから秒を選択します。
デフォルトでは [省略] が選択されています。

■ DOUBLE 型

DOUBLE型の属性値を入力します。

図：DOUBLE 型の属性入力フォーム

■ INT 型

INT型の属性値を入力します。



図：INT 型の属性入力フォーム

■ LONG 型

LONG型の属性値を入力します。



図：LONG 型の属性入力フォーム

■ PRINCIPAL 型

PRINCIPAL型の属性値を指定します。[アドレス帳] アイコンをクリックして、表示されるアドレス帳の [検索] タブ、または [履歴] タブで指定します。

表示されるアドレス帳は、その検索対象がユーザーに限定されているものです。また、アドレス帳上で複数のユーザーが指定された場合、この入力項目に反映されるのは送信された先頭のユーザーだけです。

なお、入力フィールドの値をクリアするときには、[現在の値をクリアする] アイコンをクリックします。

■ STRING 型

STRING型の属性値を入力します。



図：STRING 型の属性入力フォーム

■ USERROLE 型

USERROLE型の属性値を指定します。[アドレス帳] アイコンをクリックして、表示されるアドレス帳の [検索] タブ、または [履歴] タブで指定します。

表示されるアドレス帳は、ユーザー、グループ、ユーザーロールが対象です。また、アドレス帳上で複数のユーザーまたはグループ、ユーザーロールが指定された場合、この入力項目に反映されるのは送信された先頭のユーザーまたはグループ、ユーザーロールだけです。

なお、入力フィールドの値をクリアするときには、[現在の値をクリアする] アイコンをクリックします。

警告メッセージ

次の状態で [表示] ボタンまたは [送信] ボタンをクリックすると、警告メッセージが表示されます。

- ・ [サービス] の値が未選択の場合
- ・ [キャビネット] の値が未選択の場合
- ・ [属性名] の値が未選択の場合
- ・ [属性値] の値が入力されていない場合
- ・ [属性値] の値が属性の型に則していない場合
- ・ [属性が ATOM 型でその属性が取り得る値としての ATOM が設定されていない場合
- ・ 属性の型が Date 型で [属性値] の入力不完全な場合

付録 A.2.3 検索設定を名前で指定

[オブジェクトの指定方法] で、[検索設定を名前で指定] を選択した場合の入力項目について説明します。

ワークスペースを指定し、そのワークスペースが持っている検索設定を用いての検索にヒットしたオブジェクトをオブジェクト表示対象とする場合に、この方法を指定します。

この方法を指定した場合、参照可能なサービスの一覧が表示されます。一覧から任意のサービスを選択すると、そのサービスが持つ参照可能なワークスペースの一覧が表示されます。一覧の中からワークスペースを選択すると、そのワークスペースが持つ参照可能な検索設定の一覧が表示されます。一覧の中から検索設定を選択し、選択した検索設定の全文検索が実行時入力を許可している場合、全文検索の入力欄が表示されます。実行時入力属性を持つ場合には、実行時入力属性の入力欄が表示されます。

各項目について説明します。

[サービス] プルダウンメニュー

ログインユーザーが参照可能なサービスの一覧がプルダウンメニューで表示されます。

デフォルトは、[未選択] です。

該当のサービスを選択すると、[ワークスペース] が選択可能になります。

参照できるワークスペースが1つも存在しない場合は、「参照可能なサービスがありません。」と表示されず。

[ワークスペース] プルダウンメニュー

[サービス] で選択したサービスが持つ参照可能なワークスペースの一覧がプルダウンメニューで表示されます。

デフォルトは、[未選択] です。

該当のワークスペースを選択すると、[検索設定] が選択可能になります。

参照できるキャビネットが1つも存在しない場合は、「参照可能なワークスペースがありません。」と表示されます。

[検索設定] プルダウンメニュー

[ワークスペース] で選択したワークスペースが持つ参照可能な検索設定の一覧がプルダウンメニューで表示されます。

デフォルトは、[未選択] です。

該当の検索設定を選択します。

参照できる検索設定が1つも存在しない場合は、「参照可能な検索設定がありません。」と表示されます。

全文検索

選択された検索設定の全文検索が実行時入力属性を許可している場合は、全文検索の入力フォームが表として表示されます。この表は、左から「選択」「キーワード」「演算子」の3項目と「オプション」のラジオボタンから構成されます。次に入力項目を含む「選択」「キーワード」「演算子」「オプション」の4項目について説明します。全文検索が実行時入力属性を許可していない場合は、表部分に「全文検索の実行時入力は許可されていません。」と表示されます。

■ 選択

その行に記されている属性について実行時に値を補完する場合に、[選択] 欄のチェックボックスにチェックマークを付けます。

[演算子] と [キーワード] の両方を補完するか、または補完しないかのどちらかを選択できます。[演算子] か [キーワード] のどちらか片方を補完するような指示はできません。

■ キーワード

[キーワード] の欄には、全文検索のキーワードを入力するテキストボックスが表示されます。

■ 演算子

個々の [演算子] を、プルダウンメニューから選択します。

■ オプション

[類義語検索]、[英単語変化形検索]、または [なし] のどれかのラジオボタンを検索します。

実行時入力属性

選択された検索設定に実行時入力属性がある場合は、すべての実行時入力属性が表として表示されます。この表は、左から「選択」「属性名」「演算子」「属性値」の4項目で構成されます。

次に入力項目を含む「選択」「演算子」「属性値」の3項目について説明します。また、各属性の型によって許される演算子と値についても説明します。

■ 選択

その行に記されている属性について実行時に値を補完する場合に、[選択] 欄のチェックボックスにチェックマークを付けます。

[演算子] と [属性値] の両方を補完するか、または補完しないかのどちらかだけ選択できます。[演算子] か [属性値] のどちらか片方だけを補完するような指示はできません。

■ 演算子

個々の属性の [演算子] を、プルダウンメニューから選択します。

■ 属性値

[属性値] の欄には、その属性の型と選択されている [演算子] に応じた入力フォームが表示されます。

◆ ATOM 型

ATOM型の属性に許される演算子は、[等しい] [除く] [値なし] [値あり] の4種類です。

属性値はプルダウンメニューで表示されます。

ATOM型の属性が持ち得るATOMはキャビネットごとに設定されるものであり、持ち得るATOMが定義されていない場合には、その旨のメッセージが表示されます。この場合、この属性の実行時の補完を指示すると、[表示] ボタンまたは [送信] ボタンをクリックしたとき常に警告ウィンドウが表示されます。

◆ BOOLEAN 型

BOOLEAN型の演算子は [指定] [値なし] [値あり] の3種類です。

属性値はラジオボタンとして表示されます。[TRUE] または [FALSE] のどちらかを選択します。

◆ DATE 型

DATE型の演算子は [指定] [期間] [過去] [値なし] [値あり] の5種類です。

演算子によって、属性値を入力するフォームが変わります。

- ・ [指定] のとき：
4桁の年号を入力します。さらに、プルダウンメニューで、日時（月、日、時間、分、秒）を指定します。
- ・ [期間] のとき：
開始日時と終了日時を指定します。
- ・ [過去] 指定のとき：
数値を直接入力します。さらに、プルダウンメニューから、[年間] [ヵ月間] [週間] [日間] [時間] のどれかの単位を選択します。

◆ DOUBLE 型

DOUBLE型の演算子は [=] [≠] [>] [≥] [≤] [<] [値なし] [値あり] [範囲指定] [いずれか] の10種類です。

属性値を入力します。

◆ INT 型

INT型の演算子は [=] [≠] [>] [≥] [≤] [<] [値なし] [値あり] [範囲指定] [いずれか] の10種類です。

属性値を入力します。

◆ LONG 型

LONG型の演算子は [=] [≠] [>] [≥] [≤] [<] [値なし] [値あり] [範囲指定] [いずれか] の10種類です。

属性値を入力します。

◆ PRINCIPAL 型

PRINCIPAL型の演算子は [いずれか] [以外] [値なし] [値あり] の4種類です。

属性値を、アドレス帳を利用して入力します。

◆ STRING 型

STRING型の演算子は [>] [≥] [≤] [<] [いずれか] [全て含む] [いずれか含む] [完全一致] [含まない] [値なし] [値あり] の11種類です。

属性値を入力します。

◆ USERROLE 型

USERROLE型の演算子は [いずれか] [以外] [値なし] [値あり] の4種類です。

属性値を、アドレス帳を利用して入力します。

警告メッセージ

次の状態で [表示] ボタンまたは [送信] ボタンをクリックすると、警告メッセージが表示されます。

- ・ [サービス] の値が未選択の場合
- ・ [ワークスペース] の値が未選択の場合
- ・ [検索設定] の値が未選択の場合
- ・ [実行時入力属性] のどれかの属性の選択チェックボックスをチェックし、かつ値が未入力の場合

付録 A.2.4 検索設定をオブジェクト ID で指定

[オブジェクトの指定方法] で、[検索設定をオブジェクトIDで指定] を選択した場合の入力項目、および警告メッセージは「検索設定を名前で指定」を選択した場合と同様です。

参照 検索設定を名前で指定したときの指定方法の入力項目、及び警告メッセージについては、[\[付録 A.2.3 検索設定を名前で指定\] \(P.70\)](#) を参照してください。

付録 A.3 [URL 生成 - ダウンロード] 画面

[URL生成-ダウンロード] 画面は、オブジェクトのダウンロード機能を利用するURLを生成する画面です。

入力項目

入力項目は、[URL生成-オブジェクト表示] 画面の入力項目と同じです。

参照 [URL生成 - ダウンロード] 画面の入力項目については、[\[付録 A.2 \[URL生成 - オブジェクト表示\] 画面\] \(P.65\)](#) の入力項目を参照してください。

警告メッセージ

警告メッセージは、[URL生成-オブジェクト表示] 画面の警告メッセージと同じです。

参照 [URL生成 - ダウンロード] 画面の警告メッセージについては、[\[付録 A.2 \[URL生成 - オブジェクト表示\] 画面\] \(P.65\)](#) の警告メッセージを参照してください。

付録 A.4 [URL 生成 - コンテント画像表示] 画面

[URL生成-コンテンツ画像表示] 画面は、実体画像表示機能を利用するURLを生成する画面です。

入力項目

入力項目は、[URL生成-オブジェクト表示] 画面の入力項目と同じです。

参照 [URL生成 - コンテント画像表示] 画面の入力項目については、[\[付録 A.2 \[URL生成 - オブジェクト表示\] 画面\] \(P.65\)](#) の入力項目を参照してください。

警告メッセージ

警告メッセージは、[URL生成-オブジェクト表示] 画面の警告メッセージと同じです。

参照 [URL生成 - コンテント画像表示] 画面の警告メッセージについては、[\[付録 A.2 \[URL生成 - オブジェクト表示\] 画面\] \(P.65\)](#) の警告メッセージを参照してください。

付録 A.5 [URL 生成 - インデックス画像表示] 画面

[URL生成-インデックス画像表示] 画面は、インデックス画像表示機能を利用するURLを生成する画面です。

入力項目

入力項目は、[URL生成-オブジェクト表示] 画面の入力項目と同じです。

参照 [URL生成 - インデックス画像表示] 画面の入力項目については、[\[付録 A.2 \[URL生成 - オブジェクト表示\] 画面\] \(P.65\)](#) の入力項目を参照してください。

警告メッセージ

警告メッセージは、[URL生成-オブジェクト表示] 画面の警告メッセージと同じです。

参照 [URL生成 - インデックス画像表示] 画面の警告メッセージについては、[\[付録 A.2 \[URL生成 - オブジェクト表示\] 画面\] \(P.65\)](#) の警告メッセージを参照してください。

付録 A.6 [URL 生成 - 検索設定表示] 画面

[URL生成-検索設定表示] 画面は、検索設定表示機能を利用するURLを生成する画面です。

[URL生成-検索設定表示] 画面の各項目について説明します。

リクエストの出力形式

生成する文字列の形をURLの形式にするか、FORMタグとその要素にするかを選択します。

リクエストの種別

[送信] ボタンをクリックしたときに送信されるmethodを選択します。

また、リクエストの出力形式でFORMを選択した場合には、FORMタグのmethodの値に、ここで選択した値が入ります。

[サービス] プルダウンメニュー

ログインユーザーが参照可能なサービスの一覧がプルダウンメニューで表示されます。

デフォルトは、[未選択] です。

該当のサービスを選択すると、[ワークスペース] が選択可能になります。

参照できるワークスペースが1つも存在しない場合は、「参照可能なサービスがありません。」と表示されま

す。

検索設定の指定方法

検索設定の指定方法を指定します。選択されるものは検索設定であるため、このラベルを表示しています。

「検索設定を名前で指定」と「検索設定をIDで指定」のどちらか1つを選択できます。

[ワークスペース] プルダウンメニュー

[サービス] で選択したサービスが持つ参照可能なワークスペースの一覧がプルダウンメニューで表示されま

す。

デフォルトは、[未選択] です。

該当のワークスペースを選択すると、[検索設定] が選択可能になります。

参照できるキャビネットが1つも存在しない場合は、「参照可能なワークスペースがありません。」と表示され

ます。

[検索設定] プルダウンメニュー

[ワークスペース] で選択したワークスペースが持つ参照可能な検索設定の一覧がプルダウンメニューで表示

されます。

デフォルトは、[未選択] です。

該当の検索設定を選択します。

参照できる検索設定が1つも存在しない場合は、「参照可能な検索設定がありません。」と表示されます。

[表示] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるURL文字列が、文字列表示ウィンドウ内に表示され

ます。

[送信] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるリクエストが実際に送信されます。これによって、実

際にURLがどのような動作をするかが確認できます。

警告メッセージ

次の状態で [表示] ボタンまたは [送信] ボタンをクリックすると、警告メッセージが表示されます。

- ・ [サービス] の値が未選択の場合
- ・ [ワークスペース] の値が未選択の場合
- ・ [検索設定] の値が未選択の場合

付録 A.7 [URL 生成 - 検索設定一覧表示] 画面

[URL生成-検索設定一覧表示] 画面は、検索設定一覧表示を利用するURLを生成する画面です。

[URL生成-検索設定一覧表示] 画面の各項目について説明します。

リクエストの出力形式

生成する文字列の形をURLの形式にするか、FORMタグとその要素にするかを選択します。

リクエストの種別

[送信] ボタンをクリックしたときに送信されるmethodを選択します。

また、リクエストの出力形式でFORMを選択した場合には、FORMタグのmethodの値に、ここで選択した値が入ります。

[サービス] プルダウンメニュー

ログインユーザーが参照可能なサービスの一覧がプルダウンメニューで表示されます。

デフォルトは、[未選択] です。

該当のサービスを選択すると、[ワークスペース] が選択可能になります。

参照できるワークスペースが1つも存在しない場合は、「参照可能なサービスがありません。」と表示されま

す。

[ワークスペース] プルダウンメニュー

[サービス] で選択したサービスが持つ参照可能なワークスペースの一覧がプルダウンメニューで表示されま

す。

デフォルトは、[未選択] です。

該当のワークスペースを選択すると、[検索設定] が選択可能になります。

参照できるキャビネットが1つも存在しない場合は、「参照可能なワークスペースがありません。」と表示され

ます。

[表示] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるURL文字列が、文字列表示ウィンドウ内に表示されます。

[送信] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるリクエストが実際に送信されます。これによって、実際にURLがどのような動作をするかが確認できます。

警告メッセージ

次の状態で [表示] ボタンまたは [送信] ボタンをクリックすると、警告メッセージが表示されます。

- ・ [サービス] の値が未選択の場合
- ・ [ワークスペース] の値が未選択の場合
- ・ [検索設定] の値が未選択の場合

付録 A.8 [URL 生成 - 詳細検索結果表示] 画面

[URL生成-詳細検索結果表示] 画面は、詳細検索結果表示機能を利用するURLを生成する画面です。

入力項目

入力項目は、[URL生成-オブジェクト表示] 画面でオブジェクトの指定方法として [検索設定を名前で指定]、[検索設定をIDで指定] を選択した場合の入力項目と同じです。

- 参照** ・ [検索設定を名前で指定] を選択した場合の [URL 生成 - 詳細検索結果表示] 画面の入力項目については、[\[付録 A.2.3 検索設定を名前で指定\] \(P.70\)](#) の入力項目を参照してください。
- ・ [検索設定をオブジェクト ID で指定] を選択した場合の [URL 生成 - 詳細検索結果表示] 画面の入力項目については、[\[付録 A.2.4 検索設定をオブジェクト ID で指定\] \(P.72\)](#) の入力項目を参照してください。

警告メッセージ

警告メッセージは、[URL生成-オブジェクト表示] 画面でオブジェクトの指定方法として [検索設定を名前で指定]、[検索設定をオブジェクトIDで指定] を選択した場合の警告メッセージと同じです。

- 参照** ・ [検索設定を名前で指定] を選択した場合の [URL 生成 - 詳細検索結果表示] 画面の警告メッセージについては、[\[付録 A.2.3 検索設定を名前で指定\] \(P.70\)](#) の入力項目を参照してください。
- ・ [検索設定をオブジェクト ID で指定] を選択した場合の [URL 生成 - 詳細検索結果表示] 画面の警告メッセージについては、[\[付録 A.2.4 検索設定をオブジェクト ID で指定\] \(P.72\)](#) の入力項目を参照してください。

付録 A.9 [URL 生成 - 簡易検索結果表示] 画面

[URL生成-簡易検索結果表示] 画面は、簡易検索結果表示機能を利用するURLを生成する画面です。

[URL生成-簡易検索結果表示] 画面の各項目について説明します。

リクエストの出力形式

生成する文字列の形をURLの形式にするか、FORMタグとその要素にするかを選択します。

リクエストの種別

[送信] ボタンをクリックしたときに送信されるmethodを選択します。

また、リクエストの出力形式でFORMを選択した場合には、FORMタグのmethodの値に、ここで選択した値が入ります。

検索文字列

検索する文字列を入力します。

[サービス] プルダウンメニュー

ログインユーザーが参照可能なワークスペースの一覧がプルダウンメニューで表示されます。

デフォルトは、[未選択] です。

参照できるワークスペースが1つも存在しない場合は、「参照可能なサービスがありません。」と表示されず。

[表示] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるURL文字列が、文字列表示ウィンドウ内に表示されます。

[送信] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるリクエストが実際に送信されます。これによって、実際にドキュメントスペース ドキュメント操作URLがどのような動作をするかが確認できます。

警告メッセージ

次の場合に警告メッセージが表示されます。

- ・ [表示] ボタンまたは [送信] ボタンをクリックしたときに、[検索文字列] の値が未入力の場合

入力項目

入力項目は [詳細検索] 画面の入力項目と同じです。

参照 [URL 生成 - 詳細検索 URL 作成] 画面の入力項目については、『ドキュメントスペースのヘルプ』を参照してください。

付録 A.10 [URL 生成 - サービス表示] 画面

[URL生成-サービス表示] 画面は、サービス表示機能を利用するURLを生成する画面です。

[URL生成-サービス表示] 画面の各項目について説明します。

リクエストの出力形式

生成する文字列の形をURLの形式にするか、FORMタグとその要素にするかを選択します。

リクエストの種別

[送信] ボタンをクリックしたときに送信されるmethodを選択します。

また、リクエストの出力形式でFORMを選択した場合には、FORMタグのmethodの値に、ここで選択した値が入ります。

[サービス] プルダウンメニュー

ログインユーザーが参照可能なサービスの一覧がプルダウンメニューで表示されます。

デフォルトは、[未選択] です。

参照できるサービスが1つも存在しない場合は、「参照可能なサービスがありません。」と表示されます。

[表示] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるURL文字列が、文字列表示ウィンドウ内に表示されます。

[送信] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるリクエストが実際に送信され、ドキュメントスペース ドキュメント操作URLの動きを確認できます。

警告メッセージ

次の場合に警告メッセージが表示されます。

- ・ [表示] ボタンまたは [送信] ボタンをクリックしたときに、[サービス] の値が未選択の場合

付録 A.11 [URL 生成 - プリンタープロパティ] 画面

[URL生成-プリンタープロパティ] 画面は、プリンタープロパティ機能を利用するURLを生成する画面です。

[URL生成-プリンタープロパティ] 画面の各項目について説明します。

補足 [URL生成 - プリンタープロパティ] 画面は、ドキュメント管理サービスがプリンタープロパティ機能をサポートする場合にだけ表示されます。

リクエストの出力形式

生成する文字列の形をURLの形式にするか、FORMタグとその要素にするかを選択します。

リクエストの種別

[送信] ボタンをクリックしたときに送信されるmethodを選択します。

また、リクエストの出力形式でFORMを選択した場合には、FORMタグのmethodの値に、ここで選択した値が入ります。

プリンターの指定方法

プリンターを指定する方法を選択します。

プリンターを確定する文字列を [論理プリンター URI] にするか [論理プリンター名] にするかを選択します。[論理プリンター名] はリソース管理サービス上では必須の属性ではありません。そのため、[論理プリンター名] が設定されていないプリンターを選択した場合には、[表示] ボタンまたは [送信] ボタンをクリックしたときに警告メッセージが表示されます。

オープン時のモード

プリンタープロパティを開いたときのプリンターのモードを指定します。

プリンター一覧

リソース管理サービス上に登録されているプリンターの一覧の中から、1つ選択します。一覧には、左から表示名、機種名、論理プリンター名、論理プリンター URIが表示されます。

参照できるプリンターコンポーネントがリソース管理サービス上に登録されていない場合には、「プリンターが見つかりません。」と表示されます。

[表示] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるURL文字列が、文字列表示ウィンドウ内に表示されます。

[送信] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるリクエストが実際に送信されます。これによって、実際にURLがどのような動作をするかが確認できます。

警告メッセージ

次の場合に警告メッセージが表示されます。

- ・ [表示] ボタンまたは [送信] ボタンをクリックしたときに、プリンターが選択されていない場合
- ・ [表示] ボタンまたは [送信] ボタンをクリックしたときに、プリンターの指定方法で [論理プリンター名で指定] が選択され、かつ選択されているプリンターに [論理プリンター名] が設定されていない場合

付録 A.12 [URL 生成 - 印刷要求] 画面

[URL生成-印刷要求] 画面は、印刷要求機能を利用するURLを生成する画面です。

[URL生成-印刷要求] 画面の各項目について説明します。

補足 [URL 生成 - 印刷要求] 画面は、ドキュメント管理サービスが印刷要求機能をサポートする場合にだけ表示されます。

リクエストの出力形式

生成する文字列の形をURLとFORMのどちらかを選択します。

リクエストの種別

[送信] ボタンをクリックしたときに送信されるmethodを選択します。

また、リクエストの出力形式でFORMを選択した場合には、FORMタグのmethodの値に、ここで選択した値が入ります。

オブジェクトの指定方法

印刷要求対象のオブジェクトを指定する方法を選択します。[オブジェクトIDを指定]、[属性値を検索]、[検索設定を使用] の3つのどれかを選択できます。

オブジェクトの指定方法を選択すると、選択した指定方法に応じた入力項目が表示されます。

[オブジェクト ID を指定] を選択した場合の入力項目

参照 [オブジェクト ID を指定] を選択した場合の入力項目については、[\[付録 A.2.1 オブジェクト ID を指定\] \(P.66\)](#) を参照してください。

[属性値を検索] を選択した場合の入力項目

参照 [属性値を検索] を選択した場合の入力項目については、[\[付録 A.2.2 属性値を検索\] \(P.67\)](#) を参照してください。

[検索設定を名前で指定] を選択した場合の入力項目

参照 [検索設定を名前で指定] を選択した場合の入力項目については、[\[付録 A.2.3 検索設定を名前で指定\] \(P.70\)](#) を参照してください。

[検索設定を ID で指定] を選択した場合の入力項目

参照 [検索設定を ID で指定] を選択した場合の入力項目については、[\[付録 A.2.4 検索設定をオブジェクト ID で指定\] \(P.72\)](#) を参照してください。

[表示] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるURL文字列が、文字列表示ウィンドウの中に表示されます。

[送信] ボタン

クリックすると、現在選択されている状態で生成されるリクエストが実際に送信されます。これによって、実際にURLがどのような動きをするかが確認できます。

付録 A.13 メッセージ

URL生成アプリケーションが出力するメッセージを次に示します。

エラーメッセージ

URL生成アプリケーションで [通常] 画面上に画面の一部として表示されるエラーメッセージを次に示します。これらのメッセージにはメッセージ番号はありません。

表 : URL 生成アプリケーションのエラーメッセージ一覧

メッセージ	説明	対応
参照可能なサービスがありません	参照できるサービスがない	参照権のあるユーザーでログインする
参照可能なキャビネットがありません	参照しているサービスに参照できるキャビネットがない	別のサービスを選択する
参照可能なワークスペースがありません	参照しているサービスに参照できるワークスペースがない	別のサービスを選択する
属性「{0}」が値として取りえるATOMが定義されていません。この属性を検索に用いることはできません {0} : 項目名	選択されたATOM型の属性が値として取得できるATOMの定義がキャビネットに定義されていない	ほかの属性で検索式を作る
プリンタが見つかりません	リソース管理サービス上に参照できるプリンタが存在しない	プリンターをリソース管理サービスに登録する

警告メッセージ

URL生成アプリケーションが出力する警告メッセージを次に示します。これらのメッセージは [\[3.1 共通ユーザーインターフェイス\] \(P.33\)](#) に記述された方法で表示されます。

表 : URL 生成アプリケーションの警告メッセージ一覧

メッセージ	説明	対応
プリンタが選ばれていません。プリンタを選択してください	プリンターを選択せずに [表示] ボタンまたは [送信] ボタンをクリックした	プリンターを選択する
選択されたプリンタには論理プリンタ名が設定されていません	選択されているプリンターに論理プリンター名の設定がないが、プリンターの指定方法で [論理プリンタ名で指定] が選ばれている	プリンターの指定方法を [論理プリンタURIで指定] に変更する
「{0}」を入力されていません {0} : 項目名	必須の項目が未入力である	入力する
「{0}」が選択されていません {0} : 項目名	必須項目のセレクトタが未選択である	選択する
「{0}」が正しくありません {0} : 項目名	入力された値が正しくない	正しい値を入力する
「{0}」の値が「{1}」ではありません {0} : 項目名 {1} : 型名	属性値の入力テキストフィールドに属性の型を満たす文字列が入力されていない	正しい値を入力する
「年」は4桁の整数以外許されていません。「{0}」は範囲外です	年号に入力された値が正しくない	正しい値を入力する

表 : URL 生成アプリケーションの警告メッセージ一覧

メッセージ	説明	対応
日時の指定は途中を省略することはできません	日付の途中が省略されている	省略個所に適当な値を入力する
開始日時が終了日時を越えています	期間指定で、開始日時が終了日時を超えている	開始日時が終了日時を超えないようにする
カレンダー上に存在しない日付です	入力された日付が存在しない日時である	存在する日時に変更する
削除するオブジェクトIDが選択されていません	削除対象のオブジェクトIDを選択せずに [削除] ボタンをクリックした	削除対象を選択する
オブジェクトIDが一つもありません	オブジェクトIDを1つも入力しないで、[表示] ボタンまたは [送信] ボタンをクリックした	オブジェクトIDを入力する

情報メッセージ

URL生成アプリケーションが出力する情報メッセージを次に示します。これらのメッセージは [通常] 画面上に画面の一部として表示されます。

表 : URL 生成アプリケーションの情報メッセージ一覧

メッセージ	説明	対応
全文検索の実行時入力は許可されていません	選択された検索設定の全文検索の実行時入力が許可されていない	特になし
実行時入力属性はありません	選択された検索設定に実行時入力属性が設定されていない	特になし
属性「{0}」が値として取りえる ATOM が定義されていません。この属性を検索に用いることはできません {0} : 項目名	検索設定に実行時入力属性として定義されている ATOM 型の属性が値として取得できる ATOM の定義がキャビネットに定義されていない	検索設定を正しく作り直す
公開 URL ではサポートしていない型です	検索設定に実行時入力属性として定義されている属性の型がドキュメントスペース ドキュメント操作 URL でサポートしていない型である	特になし
データ取得のためサーバーにアクセス中です。暫くお待ちください	サーバーにアクセスし、データを取得している	データを取得しだい、正規の画面が表示される

付録 B 新規詳細検索 URL 作成

【新規詳細検索URL作成】画面は、【ドキュメントスペース管理】画面からアクセスできます。

【新規詳細検索URL作成】リンクをクリックすると【新規詳細検索URL作成】画面へ遷移します。

付録 B.1 【新規詳細検索 URL 作成】画面

【新規詳細検索表示】画面は、新規詳細検索表示および新規詳細検索結果表示機能を利用するURLを生成する画面です。

【詳細検索URL作成】画面の各項目について説明します。

入力項目

入力項目は【詳細検索】画面の入力項目と同じです。

参照 【URL生成 - 詳細検索 URL 作成】画面の入力項目については、『ドキュメントスペースのヘルプ』を参照してください。

【URL 作成】ボタン

現在選択されている状態で生成される文字列を別ウィンドウへ表示します。

付録 B.2 【新規詳細検索結果表示】画面

【URL生成-新規詳細検索結果表示】画面は、新規詳細検索表示および新規詳細検索結果表示についてURLを表示する画面です。

```

リクエスト：●URLとして結果を表示(GET) ○FORMとして結果を表示(POST)
URL：○新規詳細検索表示 ●新規詳細検索結果表示
http://[ドキュメントスペースURL]/ArcSuite/docspace/sdk/detailSearch.do?enc=UTF-8&attrItem=0%3Aname%3Asystem%3Aname&attrItem=0%3Aoperator%3Ainclude&attrItem=1%3Aname%3Asystem%3Aobjectcategory&attrItem=1%3Aoperator%3Aequals&attrOption=operator%3Aand&attrOption=caseSensitive%3Atrue&fts=operator%3AAnd&fts=keyword%3A&fts=useThesaurus%3Atrue&fts=useStemming%3Afalse&fts=useHighlight%3Afalse&viewItem=0%3Aname%3Asystem%3Aname&viewItem=0%3Awidth%3A200&viewItem=1%3Aname%3Asystem%3Amodifiedon&viewItem=1%3Awidth%3A130&viewItem=2%3Aname%3Asystem%3Amodifiedby&viewItem=2%3Awidth%3A130&viewOption=withViewingTree%3Afalse&viewOption=viewingPropertiesViewArea%3Afalse&viewOption=propertiesViewArea%3AUNDER&viewOption=listStyle%3Alist&viewOption=totalCount%3A300&viewOption=displayCountPerPage%3A15&viewOption=contentLabelForContentViewArea%3Aview

```

図：【新規詳細検索結果表示】画面

【URL生成-新規詳細検索結果表示】画面の各項目について説明します。

【リクエスト】

生成する文字列の形式と種別をラジオボタンで指定します。

URLとして結果を表示場合は、【URLとして結果を表示 (GET)】ラジオボタンを選択します。

FORMとして結果を表示する場合は、【FORMとして結果を表示 (POST)】ラジオボタンを選択します。

【URL】

生成する本URLの表示方法をラジオボタンで指定します。

新規詳細検索表示する場合は、【新規詳細検索表示】ラジオボタンを選択します。

新規詳細検索結果表示する場合は、【新規詳細検索結果表示】ラジオボタンを選択します。